

健康福祉部

# 福祉計画課

課長 上條 昭一

**事務事業評価票**

事務事業名	地域福祉活動助成事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	地域福祉活動推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度

30～

地域における社会福祉の増進を図るため、地域福祉活動を行う団体に対して交付金等を交付するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 地域福祉活動事業に関する交付金の交付  
75団体 91件
- (1) 健康づくり・居場所づくり事業 44件
  - (2) 外出支援事業 5件
  - (3) 家事支援事業 2件
  - (4) 基盤整備事業 16件
  - (5) 健康寿命延伸製品活用事業 7件
  - (6) 福祉ひろば送迎ボランティア事業 17件
  - (7) 周知啓発事業 3件

2 交付団体の活動内容を把握

3 活動事例の周知

＜現状に対する認識＞

交付団体の活動を把握し、好事例を広く周知するなどして他地区へ発信し、地域福祉活動の担い手の育成や支援に取り組みます。

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み	○地域づくりの担い手の育成		
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり		

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	交付金等を活用して活動する団体数				
指標の設定理由	地域福祉活動の担い手育成を目的とするため				
目標値			40	70	80
実績値			75		
達成度			187.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)			5,558	4,610	
国・県					
利用者負担金					
その他			5,558	4,610	
一般財源					
② 人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規			3,988	0.5	
嘱託			143	0.05	
合計コスト①+②			9,546	4,610	
前年度比	—	—	—	—	

**事務事業評価票**

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	社会参加による健康づくり・介護予防事業
-------	---------------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	113	ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
	主な取組み	○町会との協働による支えあえる地域づくり	
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
	松本版総合戦略 ①健康・医療産業の創出・育成		

＜事業の狙い＞

事業計画年度

28～

地域づくりによる介護予防の研究を目的とする、日本老年学的評価研究(JAGES)プロジェクトに参加し、市内の要介護認定を受けていない高齢者に対し、調査を行う。調査結果を分析し、介護保険データとの関連性、他自治体との比較や市内地区間の比較などを行い、本市の健康づくり・介護予防事業の評価・再構築のデータとして活用するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 平成28年度 「健康とくらしの調査」実施  
65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者7,000人(35地区×200人)に対して健康状態、生活習慣、要介護リスク、社会関係等の質問を行い、地域づくりによる健康づくりの可能性について調査  
回答数 4,481件、回答率 69.7%
- 平成29年度 調査結果の分析、共有等  
(1) 調査結果を庁内で共有するための研修会実施 2回  
(2) 調査結果報告会実施 1回  
(3) 各地区で調査結果を分析、住民と結果を共有(14地区)  
(4) 結果活用の事業実施(6地区)
- 平成30年度 調査結果の分析、共有等  
(1) 各地区で調査結果を分析、住民と結果を共有(21地区)  
(2) 結果活用の事業実施(9地区)  
(3) 庁内関係課から関連する追加情報を収集し、地区別に整理

＜現状に対する認識＞

調査結果を関係職員が共有し、その背景要因について分析・考察することで、地域の特性に応じた健康づくり・介護予防事業を、あらゆる部局で立案することが可能となります。  
あわせて、社会教育の手法を通じて結果を住民とも共有していくことで、地区課題に対する住民主体の取組みを促し、それが地域づくり(ソーシャル・キャピタルの醸成)へとつながり、さらにソーシャル・キャピタルを活かした健康づくりへと好循環していきます。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	結果を活用した事業の実施地区				
指標の設定理由	地域の特色に応じた住民の主体的な取組を促すため				
目標値	0	3	6	9	12
実績値	0	6	9		
達成度	—	200.0%	150.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		99		108		8,200			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			99		108		8,200			
② 人件費(千円)	2,307	人工	1,952	人工	1,681	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,538	0.2				
嘱託			434	0.15	143	0.05				
合計コスト①+②	2,307		2,051		1,789		8,200			
前年度比	—		88.9%		87.2%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区福祉ひろば管理運営事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば管理運営事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり	

<事業の狙い>

事業計画年度

H7～

高齢者を中心とする市民が住み慣れた地域において、共に支え合う地域社会の実現に向け、住民参加による、地域住民の健康、福祉、生きがいの増進を図るための「共助のひろば」とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 地区福祉ひろばの管理運営  
地区福祉ひろば36館に係わる職員雇用、施設管理、業務委託等を実施
- 地区福祉ひろば事業の推進  
地区福祉ひろば事業は、地区住民による福祉の拠点として、「地区福祉ひろば事業推進協議会」に委託

<現状に対する認識>

・開設後20年を経過し、施設の老朽化などにより、設備の修繕等が必要となってきます。  
・施設利用者及び支援者の高齢化に伴い、参加者数は微減していますが、今後も、福祉を中心とした地域づくりの拠点として利用者拡大、担い手育成及び町会での事業展開を図ります。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地区福祉ひろば事業参加者数				
指標の設定理由	地区福祉ひろばを拠点とした地域福祉活動を推進するため				
目標値	288,000	291,000	294,000	297,000	300,000
実績値	278,248	273,612	267,552		
達成度	96.6%	94.0%	91.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	75,030		73,390		83,350		89,030			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	75,030		73,390		83,350		89,030			
② 人件費(千円)	146,325	人工	127,889	人工	124,721	人工		人工		人工
正規	34,605	4.5	14,801	1.95	14,996	1.95				
嘱託	111,720	39.2	113,089	39.05	109,725	38.5				
合計コスト①+②	221,355		201,279		208,071		89,030			
前年度比	—		90.9%		103.4%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金(社会福祉大会)
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民による福祉のまちづくりを推進するため、社会福祉事業の功労者等を表彰し、あわせて福祉関係の講演会等を実施する社会福祉大会の開催経費を負担するもの。  
(負担金額の算出方法:事業費の2分の1以内)

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

平成30年度実施内容

- 日時 平成30年7月19日(木)13:30～
- 会場 キッセイ文化ホール 大ホール
- 主催 松本市、松本市社会福祉協議会、  
長野県共同募金会松本市共同募金委員会
- 後援 松本市教育委員会
- 内容
  - 表彰式典  
社会福祉事業特別功労者(28名)  
社会福祉事業協助者(1名)  
共同募金模範協力者(12名)
  - 記念講演  
講師 落合 恵子さん(作家・クレヨンハウス代表)

<現状に対する認識>

社会福祉事業功労者等の表彰は、感謝の意を表し、更なる社会福祉向上に資するものとして実施している。  
また、広く市民を対象とした福祉関係の講演会を開催し、福祉活動に対する市全体の理解促進を図っている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	500		500		500		500			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	500		500		500		500			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	1,269		1,259		1,255		500			
前年度比	—		99.2%		99.7%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	北部福祉複合施設管理
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	北部福祉複合施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

施設の円滑な維持管理と社会福祉の向上

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

施設利用者の利便性、安全性を考慮した施設の維持管理

管理者 松本市社会福祉協議会  
 管理方法 業務委託

北部福祉複合施設は、開館から約20年が経過し、施設及び設備等に経年劣化が見られ、修繕工事が必要となっている。北部保健センター・城東公民館・北部デイサービスなどの複合施設として地域福祉の拠点であることから、計画的な修繕工事を実施し、施設の長寿命化を図る必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	17,867		18,704		18,608		21,710			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	17,867		18,704		18,608		21,710			
② 人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	2,560	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	20,459		21,270		21,168		21,710			
前年度比	—		104.0%		99.5%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	南部福祉複合施設
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	南部福祉複合施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

施設の円滑な維持管理と社会福祉の向上

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

施設利用者の利便性、安全性を考慮した適切な管理運営

管理者 福祉計画課  
管理方法 直営

南部福祉複合施設は、Caféポリジ、松本圏域障害者総合相談支援センターWISH、南ふれあいホーム、松南地区福祉ひろば、南部保健センター、あるぷキッズ支援室などがあり、障害福祉や児童福祉、地域福祉等の拠点施設であることから、施設利用者の利便性及び安全性を考慮した施設の維持管理が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,645		9,693		10,538		10,580			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,645		9,693		10,538		10,580			
② 人件費(千円)	3,162	人工	3,144	人工	3,150	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3				
合計コスト①+②	11,807		12,837		13,688		10,580			
前年度比	—		108.7%		106.6%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	総合社会福祉センター
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

施設の円滑な維持管理と社会福祉の向上

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 施設利用者の利便性、安全性を考慮した施設の管理運営  
 (1) 管理者 松本市社会福祉協議会  
 (2) 管理方法 指定管理(特命)

2 大規模改修による施設の長寿命化  
 昭和58年の開館から30年以上が経過し、経年劣化の激しい設備の改修を実施するもの  
 (1) 事業内容  
 ア 改修機械設備工事  
 トイレ改修、衛生器具更新、給排水配管更新、受水槽更新  
 イ 改修電気設備工事  
 各階既設照明更新(LED化)、電気幹線改修、電灯動力盤更新、防災設備更新  
 (2) 工事期間  
 平成29年度～令和1年度(3カ年)

総合社会福祉センターは、障害、児童、高齢福祉や地域福祉の拠点施設として、昭和58年に開設したが、30年以上が経過し、老朽化が著しい設備の改修が必要となり、現在工事中である。冷暖房設備の更新、トイレの洋式化、照明のLED化等により施設の快適性向上と長寿命化を図っている。設備改修工事終了後は、建物の長寿命化について検討する。また、施設管理の次期指定管理者は公募での選定を予定している。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	75,130		201,734		143,748		297,640			
国・県										
利用者負担金										
その他	11,770		161,150		99,000		237,600			
一般財源	63,360		40,584		44,748		60,040			
② 人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	2,560	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	77,722		204,300		146,308		297,640			
前年度比	—		262.9%		71.6%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	健康福祉21市民会議
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	1 健康とさえずなづくり
松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の健康及び福祉に関する事項について審議等するため、有識者による会議を開催する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 健康福祉21市民会議について

- 委員数 20名(公募者、保健医療関係者、福祉関係者、学識経験者)
- 委員任期 平成28年12月22日～平成30年12月21日(2年間)
- 開催実績 1回(H30年度)
- 会議内容
  - ア (仮称)松本市避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について
  - イ 受動喫煙防止対策に関する取組方針について など

<現状に対する認識>

多様な意見を反映し、総合的な視野により、市民の健康福祉向上のために実効性のある計画の策定、見直し等について審議を行う重要な会議である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	145		238		58		300			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	145		238		58		300			
② 人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	2,560	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	2,737		2,804		2,618		300			
前年度比	—		102.4%		93.4%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	民生委員・児童委員関係
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地域福祉の担い手として、住民の相談に応じ関係機関につなげたり、地域全体の福祉増進のために活動する民生委員・児童委員の活動を支援するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 民生委員・児童委員関係事業
(1) 民生委員・児童委員に対する活動費の支給
(2) 各地区民生委員・児童委員協議会に対する活動費の支給

<現状に対する認識>

超少子高齢化社会、市民の福祉ニーズの多様化により、民生委員・児童委員の職務の負担が増大している。  
新しい委員のなり手不足の課題もあり、民生委員・児童委員の負担軽減を図るべく、取り組んでいく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	68,344		68,506		68,655		68,730			
国・県	35,106		35,102		35,102		35,102			
利用者負担金										
その他										
一般財源	33,238		33,404		33,553		33,628			
② 人件費(千円)	7,378	人工	3,144	人工	3,150	人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	1,995	0.7	867	0.3	885	0.3				
合計コスト①+②	75,722		71,650		71,805		68,730			
前年度比	—		94.6%		100.2%		—			

**事務事業評価票**

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域福祉計画推進事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	地域福祉計画推進事業費

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○地域づくりの担い手の育成
5つの重点目標	4	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

各地区で策定されている地域福祉計画の推進や見直しを推進するために、第3期地域福祉計画を推進するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定  
 地域福祉計画は、社会福祉法第107条に基づき、地域福祉を総合的に推進することを目的として市町村が策定する計画です。  
 平成28年度から32年度までを計画期間とする第3期計画を策定しました。  
 第3期計画は、松本市社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体的に策定し、地域住民が主体となった地域福祉推進の取組みを、市と社会福祉協議会が支えていくことを目的としています。

2 住民主体の支え合い体制づくり  
 地域における高齢者の介護予防と生活支援体制を構築するため、第二、岡田、四賀地区の3地区で取り組んだ地域包括ケアシステム推進事業での検証等を経て作成した支援ガイドを活用するなどして、各地区で地区支援企画会議等を中心に住民と協働で住民主体の支え合い体制づくりを進めます。  
 平成30年度 35地区で地区支援企画会議を実施し、体制づくりを推進

3 避難行動要支援者プランの推進  
 本市では、災害時等要援護者登録制度及び避難行動要支援者名簿により災害時等に配慮が必要な方を把握していますが、平常時の見守りや災害時の避難支援をより実効性のあるものとするため、平成30年度、避難行動要支援者名簿に係る個人情報の取扱い等について見直しに着手しました。  
 (災害時等要援護者登録者 平成30年4月1日 9,040人)  
 また、災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定の拡充を実施するとともに福祉避難所開設運営訓練を実施しました。  
 (市内27法人59事業所と協定締結)

＜現状に対する認識＞

・地域福祉活動を推進するために、活動の担い手の育成・支援に取り組めます。  
 ・避難行動要支援者プランの推進については、庁内関係課及び社会福祉協議会等と連携し、各地区・町会の実態に応じた避難支援体制づくりを進めます。また、福祉事業所等と連携して、福祉避難所体制の充実を図ります。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地区支援企画会議を定期的に開催している地区数				
指標の設定理由	地区課題に対する解決策を検討するための会議であるため				
目標値			35	35	35
実績値			35		
達成度			100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,540		5,744		2,105		5,470			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,540		5,744		2,105		5,470			
② 人件費(千円)	28,340	人工	28,013	人工	23,925	人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	23,070	3				
嘱託	1,425	0.5	1,448	0.5	855	0.3				
合計コスト①+②	35,880		33,757		26,030		5,470			
前年度比	—		94.1%		77.1%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区福祉ひろば利用拡大事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば利用拡大事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H26 ~

- ・松本山雅元気育成・健康増進プログラムとして各地区福祉ひろばにおいて、主に高齢者を対象とした健康講座を行う。
- ・松本山雅の知名度を活かし福祉ひろばの利用拡大を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ・松本山雅に事業を委託し、年間12か所の地区福祉ひろばを主会場として、市民の健康づくり講座を実施  
5月～11月まで12地区のひろばで講座を実施(延べ315人参加)

<現状に対する認識>

1期目の3年間に於いて、初めてひろば利用した人数250人、男性参加者254人、全体の約25%に達し、福祉ひろばで行われている「ふれあい健康教室」の全体参加者に対する新規参加者の割合は3%、男性参加者の割合は約15%という結果です。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地区福祉ひろば事業参加者数				
指標の設定理由	地区福祉ひろばの利用拡大を図るため				
目標値	288,000	291,000	294,000	297,000	300,000
実績値	278,248	273,612	267,552		
達成度	96.6%	94.0%	91.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	276		276		276		280			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	276		276		276		280			
② 人件費(千円)	527	人工	524	人工	527	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	385	0.05				
嘱託	143	0.05	145	0.05	143	0.05				
合計コスト①+②	803		800		803		280			
前年度比	—		99.7%		100.3%		—			

事務事業評価票

事務事業名	台湾・高雄市交流事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	台湾・高雄市交流事業

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			①健康・医療産業の創出・育成

<事業の狙い>

事業計画年度	27 ~
--------	------

都市間交流事業の一環として、住民主体による健康づくりや介護予防活動の構築を特徴としている地区福祉ひろば事業を、本市と交流のある高雄市にヘルスプロモーションとして展開し、両市の健康づくり 介護予防の取り組みに加え、地域医療との情報交換をすることにより、本市の地域包括ケアシステム構築への取り組み方針の確認と新規展開の動機づけを行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 平成27年度	(1) 高雄市との覚書を締結(7月)
	(2) 高雄市で「ふれあい健康教室」を開催するとともに両市の健康福祉分野に関する情報交換実施(11月)
2 平成28年度	(1) 世界健康首都会議の基調講演に高雄市社会局が参加(11月)
	(2) 上記3名が島内地区ウッドタウン小宮町会の「出前ふれあい健康教室」に参加し、松本市民と交流
3 平成29年度	(1) 高雄市への国際チャーター便就航に併せ、市長を団長とする「松本市健康福祉訪問団」として公式訪問し、太極拳体験、食生活改善員の取り組み紹介(5月)
4 平成30年度	(1) 世界健康首都会議に併せ、高雄市医療関係者13名の訪問団と健康福祉および地域医療等に関する両市の医療と介護の施策に関する情報交換実施(11月)
	(2) 次年度、医療関係者等を含む健康福祉訪問団派遣に係わる受入依頼および交流内容等、事務レベルでの調整のため高雄市を訪問(3月)

<現状に対する認識>

松本市の健康福祉分野の施策は、高雄市では、衛生局から長期介護施策を任されている高雄医学大学附属病院が統括しているので、実際の交流は、高雄医学大学附属病院系列および、それと連携している介護施設等と交流して行くことが望ましい。  
松本市の地域包括ケアシステムは、住民主体による地区福祉ひろば事業と各種医療機関が連携することを目指しているため、民間の医療機関等を巻き込み交流していく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	交流から展開した事業数				
指標の設定理由	交流から得られた情報を松本市・高雄市に有効活用させるため				
目標値		0	1	3	3
実績値			1		
達成度			100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		331		2,240			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	77	人工	607	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	77	0.01	607	0.08	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	77		607		1,841		2,240			
前年度比	—		789.6%		303.2%		—			

# 事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	退職後男性の生きがいづくり事業
-------	-----------------

## <予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	退職後男性の生きがいづくり事業

## <第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進
—	—	—

## <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み	○地域づくりの担い手の育成		
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成		

## <事業の狙い>

事業計画年度

27~30

定年退職後男性の閉じこもり予防と、地域の担い手化を目指し、地区福祉ひろばにおいて集団で発声方法と歌を練習し、家族等へ成果を披露する講座を設け、高い目標設定と自主練習を含む講座運営により、地域の担い手となる男性グループを育成する。

## <事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 平成30年度事業(フォローアップ講座)  
平成29年度参加者を対象に市内5カ所のひろばで講座を行い、地域の担い手育成を実施(中央、鎌田、島内、神林、里山辺地区で講座実施)
- 平成27年度から30年度までの成果  
平成27年度の松本地域健康産業推進協議会による実証事業を含め、3期間、講座を実施  
・スポーツボイス大学院講座参加者 延べ231人(男性127人、女性104人)  
・担い手育成参加者 延べ42人(男性25人、女性17人)

本事業を契機に地区福祉ひろば事業に初めて参加した者もあり、退職後男性の閉じこもり予防につながる講座が実施できた。  
また、講座を通じて指導者資格を取得した42名が地域福祉活動の新たな担い手となり、担い手育成に一定の効果があつた。

## <現状に対する認識>

講座修了生が中心となって自主活動を続けるためには機器が不可欠です。  
機器にはスポーツボイス以外の健康づくり・介護予防・レクリエーションのコンテンツが500以上搭載されているため、資格取得者(地域住民)とひろばコーディネーター等が機器を活用することで、住民が主体的に活動できる環境を整えることが可能となります。  
平成31年度以降は順次、各地区福祉ひろばへ機器を設置していきます。

## <指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	住民が機器を使って学習や運動指導を行った回数				
指標の設定理由	退職後男性の生きがいづくり、地域の担い手育成を目的とした事業のため				
目標値		10	30	480	900
実績値		10	51		
達成度	#DIV/0!	100.0%	170.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

## <コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,920		5,086		2,516		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,920		5,086		2,516					
② 人件費(千円)	2,307	人工	1,663	人工	912	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	769	0.1				
嘱託			145	0.05	143	0.05				
合計コスト①+②	7,227		6,749		3,428		0			
前年度比	—		93.4%		50.8%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	補助金(福祉計画課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地域福祉を推進する団体、更生保護活動をする団体等は、自主財源が乏しいため、行政による財政的支援をし、その活動を支援するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 平成30年度実績額(千円)

(1) 社会福祉協議会	150,000
(2) 民生児童委員協議会	2,550
(3) 生活福祉資金貸付金利子補給	34
(4) 保護司会	414
(5) そえ木の会	100
<合計>	153,098

2 内容

- 社会福祉協議会  
総務および地域福祉関係の件費に対する助成
- 民生児童委員協議会  
民生委員・児童委員の活動に対する補助
- 生活福祉資金貸付金利子補給  
生活福祉資金償還に係る利子相当額
- 保護司会  
犯罪や非行をした人の立ち直りを支える保護司の活動に対する補助
- そえ木の会  
犯罪や非行をした人の立ち直りを支える協力雇用主活動に対する補助

<現状に対する認識>

地域福祉を推進している社会福祉協議会、社会福祉向上のための民生委員活動、生活困窮時の一時的な貸付、犯罪や非行をした人の立ち直りを支える更生保護活動等、いずれも福祉の観点から重要な事業補助である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	150,652		150,733		153,103		153,130			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	150,652		150,733		153,103		153,130			
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,048	人工	1,050	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	151,706		151,781		154,153		153,130			
前年度比	—		100.0%		101.6%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金(福祉計画課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

高齢者福祉の向上

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松塩安筑老人福祉施設組合、松塩筑木曾老人福祉施設組合の施設建設にかかる組合償還債の負担金

- 松塩安筑老人福祉施設組合  
 養護老人ホーム温心寮建設分(H21年11月移転改築)  
 [施設概要]  
 延床面積 5,820.55㎡、定員 110人(入所100人、短期10人)  
 組合構成 松本市、塩尻市、安曇野市、東筑摩郡  
 総事業費 1,943,839千円  
 負担金内容 均等割 20%、人口割 80%  
 H30年度負担金 24,469千円

- 松塩筑木曾老人福祉施設組合
  - デイサービスセンター建設費分  
 (デイサービスセンタージョイフル岡田建設分(建設・土地))  
 H30年度負担金 16,350千円
  - 建設事業長期償還分(特別養護老人ホーム 岡田の里、ちくまの)  
 組合が特養建設の際に借入した組合償還の負担分  
 ・「用地分」は所在市町村が負担  
 ・「併設施設分」は関係市町村で按分  
 H30年度負担金 28,610千円

<現状に対する認識>

施設組合構成市村として、負担する必要があるもの。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	75,447		69,374		69,429		57,510			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	75,447		69,374		69,429		57,510			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	76,216		70,133		70,184		57,510			
前年度比	—		92.0%		100.1%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	0510000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	社会福祉法人指導監査
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

社会福祉法人の適正な運営と社会福祉事業の経営の確保を図ることを目的とし、所管する社会福祉法人の指導監査を実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 所管する社会福祉法人(H30年度 17法人)  
 法人名 (主な事業内容)  
 松本市社会福祉協議会(児童福祉、老人福祉、障害者福祉、その他)、信濃会友愛会(障害者支援施設等)、アルプス福祉会(障害福祉サービス事業)、ちくま(障害福祉サービス事業)、ハーモニー(介護老人保健施設等)、国際保健支援会(介護老人保健施設等)、雄仁会(介護老人保健施設)、のぞみ(軽費老人ホーム)、心泉会(介護老人保健施設等)、てまり(軽費老人ホーム)、陽気会(軽費老人ホーム)、梓の郷(特別養護老人ホーム)、恵清会(特別養護老人ホーム)、松本市児童養護協会(児童養護施設)、アルプス(保育所)、州浜会(保育所)、高綱の里(保育所)

2 平成30年度指導監査実施状況  
 (1) 指導監査実施法人数 9法人(一般指導監査については、3カ年に1回実施)  
 (2) うち、文書指摘を行った法人数 9法人  
 (3) 主な文書指摘事項  
 ・組織運営に関すること 30件  
 ・管理に関すること 8件

<現状に対する認識>

平成29年4月1日に社会福祉法が改正され、役員・評議員の選定方法の変更、現況報告書等のオンラインシステムでの提出、定款・役員報酬等のホームページでの公表等大幅な制度変更が行われた。平成30年度は前年度に引き続き、法改正に十分に対応がされているかを重点として指導監査を行った結果、対応が不十分な点も見受けられたため、文書指摘等の指導を行った。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	20		20		20		20			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	20		20		20		20			
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	3,865		3,815		3,795		20			
前年度比	—		98.7%		99.5%		—			

# 障害福祉課

課長 武井 義正

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(遺族会)
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

戦没者遺族及び戦傷病者の援護の相談に応じ、必要な助言・指導を実施。また、全国戦没者追悼式・県戦没者追悼式等への参加を実施するための活動支援をするもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 遺族会の活動 各地区町会連合会、奉賛会、地区遺族会共催による戦没者慰霊追悼式の実施。 戦没者遺族の処遇改善推進、遺族の交流・親睦及び国・県戦没者追悼式への参列。
2 活動費 会員数 × 550円
3 内容 会員登録数による活動費

<現状に対する認識>

補助金交付により、従来通りの事業が維持できており、戦没者遺族の福祉向上等に寄与しているため、今後も事業の継続を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	遺族会会員数				
指標の設定理由	遺族会活動状況が把握できるため				
目標値	1000	950	950	950	950
実績値	1040	944	833		
達成度	104.0%	99.4%	87.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	675		589		572		520		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	675		589		572		520			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	2,982		2,866		2,837		520			
前年度比	—		96.1%		99.0%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	自立支援福祉事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	自立支援福祉事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

障害者・児(以下「障害者」という。)が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく自立支援給付サービスを提供し、障害者の福祉の向上及び増進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供

1 障害福祉サービス

- (1) 介護給付
  - ①居宅介護 ②重度訪問介護 ③行動援護 ④重度障害者等包括支援
  - ⑤同行援護 ⑥生活介護 ⑦療養介護 ⑧短期入所 ⑨施設入所支援
- (2) 訓練等給付
  - ①自立訓練 ②就労移行支援 ③就労継続支援 ④共同生活援助
  - ⑤就労定着支援 ⑥自立生活援助
- (3) 相談支援
  - ①計画相談支援 ②地域移行支援 ③地域定着支援

2 自立支援医療

3 補装具費支給

<現状に対する認識>

障害者手帳交付者は年々増加しており、障害の重複化や重度化とともに高齢化も進んできているため、障害の状態や生活状況に応じた個別支援の更なる充実に努める。  
 障害者が地域で安心して暮らせる(地域移行)ための支援として、市内にグループホームを整備する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	グループホーム数				
指標の設定理由	地域における設置状況を把握できるため				
目標値	32	33	34	35	36
実績値	31	34	38		
達成度	96.9%	103.0%	111.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,556,764		3,692,470		3,923,580		3,723,960			
国・県	2,667,572		2,769,352		2,942,680		2,792,970			
利用者負担金										
その他										
一般財源	889,192		923,118		980,900		930,990			
② 人件費(千円)	47,000	人工	46,620	人工	46,600	人工		人工		人工
正規	38,450	5	37,950	5	37,750	5				
嘱託	8,550	3	8,670	3	8,850	3				
合計コスト①+②	3,603,764		3,739,090		3,970,180		3,723,960			
前年度比	—		103.8%		106.2%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H32

障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、各種事業を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 理解促進研修・啓発事業  
障害者等の自立した日常生活及び社会生活に関する理解を深めるための研修及び啓発を行う事業(委託により障害者週間イベントの実施)
- 自発的活動支援事業  
障害者等、障害者等の家族、地域住民等により自発的に行われる障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようにするための活動に対する支援を行う事業  
社会福祉法人信濃友愛会への委託による本人活動支援事業の実施
- 相談支援事業  
福祉サービスの利用援助、各種支援施策に関する助言、指導等の総合的専門的な相談支援の実施  
松本障害保健福祉圏域構成市村による委託により実施(Wish、ボイス、あるふ)
- 意思疎通支援事業  
意思疎通を図ることに支障がある障害者等とその他の者の意思疎通を仲介するもの  
手話通訳者派遣1,017件、要約筆記者派遣216件、手話通訳者設置1名
- 日常生活用具給付等事業  
日常生活上の便宜を図るため、要件を満たす重度障害者に用具を給付するもの。  
給付件数 5,061件 等

<現状に対する認識>

障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大に大きく寄与しており、障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。  
制度の大枠は国の実施要綱で定められているものの、細部については地域の実情に応じて柔軟に実施ができることから、市町村間で格差も生じている。近隣市村において、可能な範囲で事業内容の平準化を検討していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	日常生活用具給付事業給付件数				
指標の設定理由	地域における重度障害者(児)の生活状況が把握できるため				
目標値	4,622	4,758	4,898	5,042	5,190
実績値	5,194	5,134	5,061		
達成度	112.4%	107.9%	103.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	319,986		320,111		310,278		313,530			
国・県	122,124		119,264		109,099		176,790			
利用者負担金										
その他										
一般財源	197,862		200,847		201,179		136,740			
② 人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工	9,025	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,475	0.5				
合計コスト①+②	329,101		329,146		319,303		313,530			
前年度比	—		100.0%		97.0%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	福祉手当給付事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉手当給付事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

日常生活に特別の介護を必要とする重度障害者や心身に障害を持っている方を対象に経済的負担の軽減及び福祉の増進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 特別障害者手当  
20歳以上で、日常生活に常時特別の介護を要する在宅の重度障害者(1級程度の障害重複か同程度以上の者)
- 福祉手当(経過措置)  
昭和61年3月31日現在において20歳以上の福祉手当受給者で障害基礎年金、特別障害者手当の支給を受けられない者
- 心身障害者福祉手当  
20歳以上の在宅障害者で、身障手帳1級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳 1・2級の者

<現状に対する認識>

- 特別障害者手当、福祉手当  
施設入所、長期入院により資格を喪失する者が減少。在宅生活に戻り、手当の受給を再開するケースが増加。今後も増加傾向にある。
- 心身障害者福祉手当  
障害者手帳の増加に伴い、手当の支給が増加傾向。特に精神保健福祉手帳の増加が著しい。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	心身障害者福祉手当受給者数				
指標の設定理由	障害者手帳交付数を把握し経済的負担を軽減するため				
目標値	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
実績値	3,556	3,670	3,786		
達成度	96.1%	99.2%	102.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	216,286		217,466		218,178		207,600			
国・県	74,204		72,930		69,950		66,450			
利用者負担金										
その他										
一般財源	142,082		144,536		148,228		141,150			
② 人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工	9,025	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,475	0.5				
合計コスト①+②	225,401		226,501		227,203		207,600			
前年度比	—		100.5%		100.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	身体障害者福祉事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	身体障害者福祉費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～H32

身体障害者の社会参加促進や障害者本人、介護者の心身の負担及び経済的負担軽減のため、各種事業を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 重度心身障害者(児)タクシー利用料金助成事業  
重度の障害者(児)に対して1乗車700円割引のタクシー券(年間24枚、人工透析患者は48枚)を交付するもの
- 2 重度心身障害者(児)自動車燃料費助成事業  
重度の障害者(児)に対して、自動車の燃料費(月額1,400円。年額16,800円を限度)を助成するもの
- 3 心身障害者(児)タイムケア事業  
障害児者を家庭において一時的に介護できない場合等に、事前に登録した介護者が時間単位で一時的預かりするもの
- 4 障害者理美容料金助成事業  
常時臥床し、外出困難な重度障害者に対し、理美容料金を助成するもの(1回3,000円、年6回を限度)
- 5 身体障害者補助犬飼育費助成事業  
身体障害者補助犬使用者に対し、飼育管理費を助成するもの(月3,000円)
- 6 障害者にやさしい住宅改良促進事業  
身体障害者が居住する住宅の居室、トイレ、浴室等を改修する場合に補助金を交付するもの
- 7 身体障害者デイサービス事業  
心身障害者福祉センター(市社協指定管理)、北部デイサービスセンターの運営に対し、委託、補助を行うもの等

<現状に対する認識>

身体障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大及び介護者の負担軽減に大きく寄与しており、身体障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	タクシー券使用枚数				
指標の設定理由	重度障害者(児)の外出機会の状況が把握できるため				
目標値	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
実績値	15,438	15,371	14,771		
達成度	90.8%	90.4%	86.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	49,601		48,276		48,890		51,120			
国・県	7,563		8,037		4,994		5,100			
利用者負担金										
その他										
一般財源	42,038		40,239		43,896		46,020			
② 人件費(千円)	10,540	人工	10,480	人工	10,500	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	60,141		58,756		59,390		51,120			
前年度比	—		97.7%		101.1%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	知的障害者福祉事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	知的障害者福祉費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H32

障害者及び家族の身体的、経済的な負担を軽減するための各種補助事業

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 心身障害者扶養共済掛金補助金  
県の「心身障害者扶養共済制度」加入者のうち、低所得世帯に掛金の30%の額を補助する。
- 障害者・児施設訪問看護サービス  
施設等に通所(園)する医療的ケアを必要とする障害者・児に対する訪問看護師の経費を補助する。

<現状に対する認識>

心身障害者扶養共済は親亡き後の障害者の経済的支援の一つとして有効なものであるが、新規加入者の数が減少しているため周知に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	補助事業利用者				
指標の設定理由	心身障害者扶養共済制度自体の利用者数の成果が確認できる				
目標値	12	15	20	25	30
実績値	8	9	7		
達成度	66.7%	60.0%	35.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,733		415		330		450			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,733		415		330		450			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	9,423		8,005		7,880		450			
前年度比	—		85.0%		98.4%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者虐待防止事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者虐待防止事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～H32

障害者虐待の発生防止、発生してしまった時に早期発見・早期対応ができるネットワークの構築を行う。また虐待が発生し障害者の身体・生命に危険を及ぼす危険がある場合に障害者を保護できる居室を確保できるようにしていく。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 虐待防止ネットワーク協議会開催  
障害者、高齢者の虐待防止に関係する機関・団体を構成メンバーにした協議会を開催し、周知啓発、早期発見、早期対応に向けた体制づくりと連携強化を行う。
- 虐待防止・早期発見のための周知啓発  
虐待防止ネットワーク協議会構成団体及び市民の方への周知啓発を実施。
- 障害者虐待防止短期入所事業  
障害者虐待により、障害者を緊急に保護分離しなければいけない時に受入先として指定短期入所施設の居室が確保できない場合がある。そのような時に代替施設を利用するための費用を支弁するもの。
- 在宅強度行動障害者等短期入所利用支援事業  
家族の介護負担の増加が虐待発生の要因の一つであるため、虐待を未然に防ぐことができるようになるために、短期入所施設が障害者の受入れをしやすくするための支援体制を整備するもの。

<現状に対する認識>

相談・通報件数は年間10数件と少ない。障害者虐待に該当する行為であっても、虐待であるとの認識が無いまま支援が行われていることもある。さらなる周知啓発が必要である。あわせて受入をしてくれる障害者福祉サービス事業所が増える環境整備に努める必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	障害者福祉制度のあらし等配布による障害者虐待防止の周知啓発数				
指標の設定理由	直接、障害者に障害者虐待について周知ができ効果を得ているため。				
目標値	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000
実績値	1,500	1,750	1,600		
達成度	83.3%	94.6%	84.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	113		177		128		300			
国・県			88		63					
利用者負担金										
その他										
一般財源	113		89		65		300			
② 人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5						
合計コスト①+②	9,228		9,212		7,678		300			
前年度比	—		99.8%		83.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(障害福祉課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

経営基盤の脆弱な旧法サービス事業者等を対象に、日中活動の場の確保と経営安定のために実施するもの。

また、障害者等に余暇活動の場の提供や余暇の過ごし方に関する相談支援を行い、または重度障害者の外出を支援し、障害者の余暇の充実及び社会参加の促進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 障害者の日中活動の場を提供する施設の運営を行うにあたり、施設の用地及び建物を民間から賃借している場合に、賃借料の一部を補助するもの。  
補助基準  
施設用地、施設建物 賃借料の1/2 (補助限度額 年額600,000円)
- 障害者等が行うスポーツ、レクリエーション(ハイキング、キャンプ、オリエンテーリング等)、趣味の活動(料理、音楽、絵画、陶芸、カラオケ等)、旅行等の余暇活動の場を提供する事業に対し補助するもの。  
補助額 1団体あたり100,000円(上限額。1団体につき3年を限度とする。)

<現状に対する認識>

要綱では、旧法サービス事業者を対象としているため、対象施設が増えることはないが、利用をしている障害者にとっては日中活動をすることに意味があり欠かせない場であるため、今後も継続が必要。

障害者の余暇活動の場の確保のため、必要不可欠な事業であるが、1団体3年限りという制限のある補助金であることから、本補助金交付終了後の継続した事業実施に対する支援策の検討が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

D

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	余暇活動支援事業参加者数				
指標の設定理由	重度障害者(児)の社会参加、外出機会の状況を把握するため				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	47	18	14		
達成度	94.0%	36.0%	28.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	420		420		100		100			
国・県	50		50		50		50			
利用者負担金										
その他										
一般財源	370		370		50		50			
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	4,265		4,215		3,875		100			
前年度比	—		98.8%		91.9%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	福祉医療費給付事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者支援医療扶助費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

障害者の医療費自己負担分について給付を行い、障害者の健康保持と福祉の増進を図るものです。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 助成対象	身体障害者手帳 1～4級 療育手帳 A1、A2、B1 精神保健福祉手帳 1～2級
2 助成内容	1ヵ月1医療機関あたり受給者負担金(500円)を医療費自己負担額から差し引いた額を給付します。
3 実績(H30年度)	(1) 給付件数 253, 247件 (2) 給付額 812, 212, 099円

<現状に対する認識>

障害者の方が地域で安心して暮らせる為には、安心して医療機関を受診できる環境を整えることが重要です。  
本事業は、障害者の方が医療機関を受診する際の負担を軽減するものであり、継続した実施が必要です。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	福祉医療費受給者証交付件数				
指標の設定理由	障害者手帳交付数と比較することにより、交付対象の妥当性を検証できるため				
目標値	9,900	9,950	10,000	10,050	10,100
実績値	9,809	9,780	9,809		
達成度	99.1%	98.3%	98.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	775,791		792,593		812,212		772,170			
国・県	253,590		257,929		273,540		250,010			
利用者負担金										
その他										
一般財源	522,201		534,664		538,672		522,160			
② 人件費(千円)	21,080	人工	16,260	人工	16,400	人工		人工		人工
正規	15,380	2	7,590	1	7,550	1				
嘱託	5,700	2	8,670	3	8,850	3				
合計コスト①+②	796,871		808,853		828,612		772,170			
前年度比	—		101.5%		102.4%		—			



**事務事業評価票**

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(知的障害者育成会等補助事業)(児童福祉総務費)
-------	-----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H32

障害者の社会参加促進や介護者支援のために活動する団体に対して事業に係る運営費の一部を助成する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本市知的障害者育成会補助金  
会員数200名。29年度、社会参加促進の機会の場の開催及び知的障害者の福祉向上のための活動を合わせて18回実施。
- 心身障害児・者激励行事補助金  
松本市社会福祉協議会が実施し、市は経費の一部を助成。外出機会が少ない障害児者とその家族が参加者間での交流や情報交換、心身のリフレッシュを図っている。  
29年度は当事者及びその家族の方39名が参加。

<現状に対する認識>

松本市知的障害者育成会は会員数の増加がなかなか困難であるが、知的障害者福祉の向上のための活動を積極的に行っていて、本市の知的障害者福祉の増進に寄与しているので会と協力して会員の増加に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市知的障害者育成会会員数				
指標の設定理由	会への所属が社会参加のきっかけとなり、介護者の孤立化も予防できる。				
目標値	250	255	260	265	270
実績値	204	200	150		
達成度	81.6%	78.4%	57.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	350		350		350		350			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	350		350		350		350			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	8,040		7,940		7,900		350			
前年度比	—		98.8%		99.5%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(特定疾患患者見舞金給付事業)(保健衛生総務費)
-------	-----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

特定疾患患者の経済的、精神的負担の軽減と福祉の増進を図るため、申請に基づき1年度に1回見舞金として給付するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 対象要件	特定医療費(指定難病)受給者証、ウイルス肝炎医療費受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の交付を受けている方または、別表に定める疾患(30病種)と診断された方で、本市に1年以上居住する方。(毎年度申請が必要)
2 内容	特定疾患患者見舞金として1人年額12,000円を給付。

<現状に対する認識>

原因及び治療法が確立されていない疾病、いわゆる難病患者及びその家族の経済的、精神的負担の軽減を図るために継続した実施が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	特定疾患患者見舞金申請件数				
指標の設定理由	経済的負担の状況が把握できるため				
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
実績値	1,224	1,235	1,233		
達成度	94.2%	95.0%	94.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	14,688		14,820		14,796		16,710			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	14,688		14,820		14,796		16,710			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託										
合計コスト①+②	22,378		22,410		22,346		16,710			
前年度比	—		100.1%		99.7%		—			

# 生活保護課

課長 大月 俊雄

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	中国残留邦人生活支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H20 ~

中国残留邦人等本人とその配偶者の生活の安定を目的として、生活、医療、住宅、介護支援などを行ったり、地域で安心して暮らせる環境づくりを行い、社会的な自立を促すもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 中国残留邦人生活支援給付金の支給  
中国残留邦人等本人とその配偶者の、老後の生活を安定させることを目的とした給付金を支給した。
- 支援・相談員の配置  
中国語に堪能な支援・相談員を配置し、中国残留邦人等からの日常生活の相談を受けるとともに、医療機関での通訳にあたった。
- 中国残留邦人等生活支援事業  
中国残留邦人等が地域の日本語教室や交流事業に気軽に参加できる仕組みをつくり、地域の一員として普通の暮らしを営んでいくことを目的とした事業を、民間団体に委託し実施した。

<現状に対する認識>

対象者には日本語が話せない高齢者が多いことから、中国語に堪能な支援・相談員の配置を継続し、日常生活の相談に応じる等きめ細かな支援を行っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	46,797		33,985		36,566		40,940			
国・県	35,389		26,990		28,661		31,420			
利用者負担金										
その他	21		0		138		70			
一般財源	11,387		6,995		8,248		9,450			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	48,335		35,503		38,076		40,940			
前年度比	—		73.5%		107.2%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	事務管理(法外援護)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	事務管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

行旅病人や行旅死亡人に対し、必要な支援を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 低所得者援護(行旅人旅費)  
市外最寄りの駅までの旅費、食事代として500円を支給した。
- ボーダーライン援護(30年度は実績なし)
  - 窮迫等で短期の医療を受け、所持金がないため医療費の支払いが困難なホームレス等に対して、その医療費を支給する。
  - 身元不明の行き倒れ(行旅死亡人)の死亡診断書料を支払う。

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	38		2		1		160			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	38		2		1		160			
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工	385	人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05	385	0.05		
嘱託										
合計コスト①+②	423		382		379		545			
前年度比	—		90.3%		99.2%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀社会就労センター管理
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀社会就労センター管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

心身上の理由や世帯の事情により就業の困難な者に、就労や技能習得の機会を提供し、その自立助長を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 授産施設の管理  
 一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供するための施設の維持管理を行った。

<現状に対する認識>

施設の老朽化が進んでいる。  
 また、高齢の利用者が多く、利用者の過半数が70歳を超えているため、利用者の減少が見込まれることから、今後施設のあり方について検討が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,003		2,180		3,090		3,130			
国・県	4,454		4,815		5,235		5,510			
利用者負担金										
その他	11		11		10		10			
一般財源	-1,462		-2,646		-2,155		-2,390			
② 人件費(千円)	6,854	人工	6,919	人工	7,033	人工		人工		人工
正規	1,154	0.15	1,139	0.15	1,133	0.15				
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	9,857		9,099		10,123		3,130			
前年度比	—		92.3%		111.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀社会就労センター事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀社会就労センター事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

心身上の理由や世帯の事情により就業の困難な者に、就労や技能習得の機会を提供し、その自立助長を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 授産施設の運営管理  
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供し、自立助長を図った。
- 2 仕事の確保  
所長、指導員で企業に出向き、仕事量の確保に努めた。

<現状に対する認識>

高齢の利用者が多く、利用者の過半数が70歳を超えているため、利用者の減少が見込まれることから、今後施設のあり方について検討が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,650		7,842		7,641		7,680			
国・県										
利用者負担金	111		101		112		110			
その他	7,498		7,495		7,613		7,500			
一般財源	41		246		-84		70			
② 人件費(千円)	5,700	人工	5,780	人工	5,900	人工		人工		人工
正規										
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	13,350		13,622		13,541		7,680			
前年度比	—		102.0%		99.4%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	奈川社会就労センター管理
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	奈川社会就労センター管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

心身上の理由や世帯の事情により就業の困難な者に、就労や技能習得の機会を提供し、その自立助長を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 指定管理者制度の導入  
平成26年度から指定管理者制度を導入した。  
指定管理者 社会福祉法人松本市社会福祉協議会
- 授産施設の運営管理  
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供し、自立助長を図った。
- 仕事の確保  
所長、指導員で企業に出向き、仕事量の確保に努めた。
- 自主事業の実施  
施設の社会参加を目指した農業を実施した。
- 30年9月の台風による倒木で被害を受けた屋根の応急工事を11月に実施した。  
31年度に復旧工事の実施を予定している。

<現状に対する認識>

高齢の利用者が多く、利用者の過半数が60歳を超えているため、利用者の確保が課題である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	17,842		16,950		17,893		23,260			
国・県	3,497		3,528		3,835		3,560			
利用者負担金										
その他										
一般財源	14,345		13,422		14,058		19,700			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	18,611		17,709		18,648		23,260			
前年度比	—		95.2%		105.3%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	生活保護
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	生活保護費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

生活に困窮する市民(原則)に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 被保護世帯への相談、支援  
個々の実情に即した相談支援を重視し、関係機関及び民生委員等の協力を求め、社会資源の活用を図り、適正な保護の実施と支援に努めた。
- 就労支援プログラムの活用  
自立支援のための就労支援プログラムを策定し、就労支援員2名が公共職業安定所や関係機関等との連携による実情に応じた継続的できめ細やかな就労支援を行い、被保護者世帯の自立を支援した。
- 生活保護支援基金の貸付け  
生活保護に該当すると見込まれる者に対して、申請に基づき生活保護費支給までのつなぎ資金として、条例に定めた範囲内で生活資金や住宅資金を貸し付ける基金を運用して貸し付けを行った。

<現状に対する認識>

堅調な雇用情勢を受け、母子世帯や稼働年齢層のいる世帯は減少傾向にあり、保護人員は微減に推移しているが、家族形態は核家族が中心となり、単身世帯が増加し、保護世帯数は横ばいの状況である。  
急激な高齢化の進展により、高齢者世帯が全体の半数を超え、その9割が単身世帯のため、民生・児童委員や高齢者福祉関係者等との連携による見守りや健康管理を中心とした支援を行っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	被保護者の就職者数				
指標の設定理由	生活保護制度の目的である自立助長を端的に示すことができるため				
目標値	100	120	73	年度当初に就労支援者数を確認して目標設定を行う	
実績値	136	130	90		
達成度	136.0%	108.3%	123.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,339,660		3,320,871		3,206,525		3,081,960			
国・県	2,468,415		2,625,383		2,456,566		2,343,310			
利用者負担金										
その他	32,582		45,215		47,040		44,470			
一般財源	838,663		650,273		702,919		694,180			
② 人件費(千円)	220,885	人工	218,475	人工	222,375	人工		人工		人工
正規	203,785	26.5	201,135	26.5	207,625	27.5				
嘱託	17,100	6	17,340	6	14,750	5				
合計コスト①+②	3,560,545		3,539,346		3,428,900		3,081,960			
前年度比	—		99.4%		96.9%		—			

# 高齡福祉課

課長 三代澤 昌秀

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	敬老地区行事等支援事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	敬老地区行事等支援事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

地域でのお祝い等により、ひとり暮らし高齢者等の孤独感の解消や、高齢者相互間の交流促進、地域支え合いによる高齢者福祉の向上が図られる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

敬老祝金給付

88歳(米寿)12,000円 99歳(白寿)13,000円 100歳以上25,000円  
記念品、祝状等贈呈

88歳(米寿) 祝状 99歳(白寿) 祝状 100歳 祝状と記念品

敬老の日地区行事補助

交付先:社会福祉協議会

各地区の社会福祉協議会支会が行う敬老の日の地区行事に係る経費を補助するもの。

75歳以上高齢者数×@1,000円を上限額とする。

ひとり暮らし老人等給食サービス事業

社会福祉協議会を実施主体として、市内に居住するひとり暮らし高齢者、障害者世帯等を対象に、地域住民とのふれあい、交流を深めることを目的に開催される会食または、配食について、該当事業費の一部を補助するもの。

<現状に対する認識>

敬老の日地区行事補助

対象者の高齢化による参加人数の減少と、行事主催者の高齢化により、敬老行事のあり方を検討する必要がある。

ひとり暮らし老人等給食サービス事業

実施主体となる松本市社会福祉協議会に事業の充実、活性化を依頼する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	敬老祝金給付対象者数(人)				
指標の設定理由	高齢者数の増加				
目標値	1,782	1,780	1,780	1,960	1,960
実績値	1,767	1,779	1,885		
達成度	99.2%	99.9%	105.9%		
② 成果指標(指標名)	ひとり暮らし老人等給食サービス配食数(食)				
指標の設定理由	ひとり暮らし高齢者数の増加				
目標値	18,843	19,031	19,221	19,279	19,337
実績値	18,315	14,878	14,775		
達成度	97.2%	78.2%	76.9%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	67,801		69,931		71,304		73,500			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	67,801		69,931		71,304		73,500			
② 人件費(千円)	3,267	人工	4,517	人工	4,666	人工		人工		人工
正規	2,384	0.31	4,020	0.52	4,153	0.54				
嘱託	884	0.31	496	0.17	513	0.18				
合計コスト①+②	71,068		74,448		75,970		73,500			
前年度比	—		104.8%		102.0%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者社会参加支援事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者社会参加支援事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

高齢者の健康増進と協調精神を養うとともに、地域の仲間とのふれあいの機会を持ち、また、これまでに培った経験、能力を活かし就業を通じて社会を支え、同時に自分自身の生きがいがいづくりに寄与することで、高齢者福祉の向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

**高齢者就業機会確保事業**  
 高齢者等の雇用の安定等に関する法律(昭和40年法律第68号)に基づく補助事業。  
 シルバー人材センターは、同事業で国の補助を受けており、その条件として、地方公共団体が応分の補助を行う事が前提とされているもの。  
 松本地域シルバー人材センターに対する運営費補助金のうち、松本市・山形村で按分した本市負担分。

生きがいがづくり、健康づくり事業  
 松本市高齢者クラブ連合会を実施主体に実施される、高齢者の生きがいがづくり、健康づくりを目的とした各種事業に係る経費への補助及び、町会単位等の各単位クラブへの活動助成をするもの。

<現状に対する認識>

シルバー人材センター補助金  
 介護予防・日常生活支援総合事業、空家等適正管理事業を受託し取り組んでいる。新規会員の募集に積極的に取り組み、契約件数の増加に努めている。  
 高齢者クラブ補助金  
 役員の高齢化により高齢者クラブの解散が増えているため、高齢者クラブの事業の周知をし、加入促進を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	就業実人数				
指標の設定理由	就業機会の確保				
目標値	1,582	1,598	1,614	1,630	1,630
実績値	1,558	1,304	1,338		
達成度	98.5%	81.6%	82.9%		
② 成果指標(指標名)	単位クラブ数				
指標の設定理由	生きがいがづくりの推進				
目標値	181	170	170	160	160
実績値	168	160	152		
達成度	92.8%	94.1%	89.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	25,121		29,976		26,107		26,760			
国・県	3,566		3,550		3,337		3,650			
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,555		26,426		22,770		23,110			
② 人件費(千円)	1,159	人工	1,632	人工	1,632	人工		人工		人工
正規	846	0.11	1,461	0.19	1,461	0.19				
嘱託	314	0.11	171	0.06	171	0.06				
合計コスト①+②	26,280		31,608		27,739		26,760			
前年度比	—		120.3%		87.8%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者福祉入浴事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者福祉入浴事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市内公衆浴場等の入浴料金の一部を助成し、高齢者の健康増進及び交流促進を支援するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 対象者 70歳以上の高齢者
- 対象施設 市内公衆浴場組合加盟の浴場、松茸山荘別館、梓水苑
- 利用方法 対象施設を1回100円で利用できる入浴券を1人年間30枚交付
- 助成内容 入浴券1枚につき、300円(上限)助成

<現状に対する認識>

対象施設が市域の東側に偏っており、制度を利用できる者が限られるため、交付率は18%、交付者一人当たりの平均利用枚数は13枚と利用率が低い。このことから、平成32年度以降の事業のあり方を実施計画50号で再検討します。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	入浴券交付率				
指標の設定理由	交流の場の提供				
目標値	18.00%	18.02%	18.04%	18.06%	
実績値	18.02%	18.37%	18.22%		
達成度	100.1%	101.9%	101.0%	0.0%	
② 成果指標(指標名)	平均利用枚数				
指標の設定理由	利用率の向上				
目標値	13.00枚	13.00枚	13.00枚	13.00枚	
実績値	13.24枚	12.92枚	12.98枚		
達成度	101.8%	99.4%	99.8%	0.0%	

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	35,813		34,919		35,504		34,850			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,813		34,919		35,504		34,850			
② 人件費(千円)	1,792	人工	2,129	人工	2,333	人工		人工		人工
正規	1,307	0.17	1,898	0.25	2,076	0.27				
嘱託	485	0.17	232	0.08	257	0.09				
合計コスト①+②	37,605		37,048		37,837		34,850			
前年度比	—		98.5%		102.1%		92.1%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	福祉100円バス助成事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	福祉100円バス助成事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

～

高齢者等の交通手段の確保、外出支援等により、日常生活利便の向上、社会活動参加の促進により、高齢者等の生きがいがづくり、健康づくりを図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市内に居住する70歳以上の高齢者及び障害者を対象に市内のバス等を利用する場合に、その料金の一部を助成するもの  
 利用料金のうち100円を利用者が負担し、残りの料金については、事業者と市で負担するもの

負担割合

- (1) 市内バス路線及び上高地線電車  
 平成26年度までは市と事業者が折半、平成27年度は市6割、事業者4割、平成28年度からは市7割、事業者3割
- (2) 西部コミュニティバス  
 市5割、事業者5割
- (3) 代替交通(ほしみ線、中山線、入山辺線)  
 市5割、事業者5割
- (4) 地域バス(浅間・大村線)  
 市5割、事業者5割

<現状に対する認識>

主なバス運行事業者のアルピコ交通(株)は、事業者負担分が実質的な減収になるとして、負担割合の見直しを求めている。  
 市は、事業を福祉政策としてだけでなく、利用促進策としても捉えていることも踏まえたうえで、負担割合について協議していきたい。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間利用者数(人)				
指標の設定理由	高齢者の外出支援				
目標値	設定なし	622,000人	622,000人	622,000人	622,000人
実績値	621,165人	590,408人	580,976人		
達成度	#VALUE!	94.9%	93.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	73,111		66,297		65,064		74,720			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	73,111		66,297		65,064		74,720			
② 人件費(千円)	3,584	人工	4,182	人工	4,224	人工		人工		人工
正規	2,615	0.34	3,719	0.49	3,768	0.49				
嘱託	969	0.34	463	0.16	456	0.16				
合計コスト①+②	76,695		70,479		69,288		74,720			
前年度比	—		91.9%		98.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人福祉センター管理運営事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	老人福祉センター管理運営事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地域の高齢者に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を図り、高齢者の日常生活に必要な能力回復、向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 南部老人福祉センター管理運営  
施設及び管理運営に関して指定管理者と締結した協定に基づき、事業を実施したもの  
 (1) 利用の許可業務  
 (2) 施設及び設備の維持管理業務  
 (3) 老人福祉法の規定により行う業務  
 ア 各種講座  
 イ サークル支援  
 ウ 福祉入浴  
 エ プラチナ大学 他
- おぼけ荘関連  
解体後の敷地について、測量を実施したもの 1,524千円

<現状に対する認識>

施設の大規模改修に伴い、各種講座、プラチナ大学等の回数及び人数について規模を縮小して実施しています。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	生きがいづくりの推進				
目標値	12,000人	12,500人	12,600人	12,700人	12,800人
実績値	12,454人	15,487人	14,494人		
達成度	103.8%	123.9%	115.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	29,258		8,077		8,832		7,550			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	29,258		8,077		8,832		7,550			
② 人件費(千円)	1,476	人工	513	人工	518	人工		人工		人工
正規	1,077	0.14	455	0.06	461	0.06				
嘱託	399	0.14	58	0.02	57	0.02				
合計コスト①+②	30,734		8,590		9,350		7,550			
前年度比	—		28.0%		108.8%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人デイサービス事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	老人デイサービス事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

29~33

施設、整備等の耐用年数経過による老朽化に伴い、改修及び設備の更新を行い、利用者の安全確保、サービス環境を整える必要があるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

指定管理納付金を財源とし、施設の改修、更新を計画的に進めるもの

- 建設年度  
平成5年度～平成11年度(建築経過年数:20~26年)
- 対象施設  
11施設
- 管理運営  
指定管理・利用料金制(独立採算方式)
- 事業内容  
施設及び設備の改修工事等
- 維持管理実績
  - 平成28年度  
島内デイ 特殊浴槽更新等 総額 17,604,540円
  - 平成29年度  
北部デイ スプリンクラー設置工事等 総額 38,369,160円
  - 平成30年度  
島内デイ ボイラ、ろ過装置更新工事等 総額 66,290,400円

<現状に対する認識>

民間経営のノウハウや技術等の活用により、市の関与、費用負担の抑制等、デイのあり方について、民間移行を検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	21,228		39,866		67,787		10,360			
国・県										
利用者負担金										
その他	17,604		38,369		66,290		8,860			
一般財源	3,624		1,497		1,497		1,500			
② 人件費(千円)	104	人工	173.75	人工	336.1	人工		人工		人工
正規	92	0.012	153.8	0.02	307.6	0.04				
嘱託	11	0.004	19.95	0.007	28.5	0.01				
合計コスト①+②	21,332		40,040		68,123		10,360			
前年度比	—		187.7%		170.1%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公的介護施設等整備事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公的介護施設等整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

12～

介護保険事業計画に基づき、介護保険施設等を整備するにあたり、事業者である社会福祉法人等に対し、県補助金を活用して、施設整備費や施設開設に必要な諸経費の助成を行うもの。  
また、利用者等の安全性確保の観点から行う防災改修について、国補助金を活用して助成を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業

- (1) NPO法人慈千会 2,573千円
- (2) 有限会社創生活環境運営 2,138千円

<現状に対する認識>

介護保険事業計画に整合した施設整備、また、介護施設における利用者の安全確保及び介護設備の充実による介護従事者の確保を目指す傾向にあります。  
今後の国県等の動向に注視し、今後の事業展開を図ります。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地域密着型サービス施設整備				
指標の設定理由	施設整備数				
目標値	45	47	48	50	53
実績値	45	47	47		
達成度	100.0%	100.0%	97.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	150,419		163,604		4,711		173,840			
国・県	150,419		163,604		4,711		173,840			
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	750	人工	749	人工	26	人工		人工		人工
正規	667	0.09	692	0.09	23	0.003				
嘱託	82	0.03	57	0.02	3	0.0009				
合計コスト①+②	151,169		164,353		4,737		173,840			
前年度比	—		108.7%		2.9%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	松風園管理運営事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松風園管理運営事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

S55~

居住環境や家庭の問題などにより、自宅において生活することが困難な高齢者の権利擁護をするものです。  
施設、整備等の耐用年数経過による老朽化に伴い、改修及び設備の更新を行い、利用者の安全確保、サービス環境を整える必要があるものです。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

養護老人ホームに入所措置をとり、その者の生活維持にかかる経費を施設に支払うものです。国で決められた単価により計上し、支出しています。  
施設の維持管理は指定管理納付金を財源とし、施設の改修、更新を計画的に進めるものです。

- 建設年度  
昭和55年度(建築経過年数38年)
- 管理運営  
指定管理・利用料金制委託料併用方式
- 内容  
家庭の問題等により自宅において生活困難な高齢者の権利擁護及び、利用者のサービス向上のための施設・設備の改修等
- 修繕等実績
 

(1) 平成28年度 食器洗浄機の更新	総額 3,678,480円
(2) 平成29年度 空調設備入替工事等	総額 7,595,640円
(3) 平成30年度 テーブル型冷蔵庫の更新等	総額 4,309,200円

<現状に対する認識>

納付金の範囲内で実施できており、今後の維持管理計画に基づき、事業費の平準化等を図りながら、事業を展開していくものです。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	174,763		175,305		174,131		186,640			
国・県										
利用者負担金	38,260		41,519		44,438		41,490			
その他	12,664		16,052		12,763		14,370			
一般財源	123,839		117,734		116,930		130,780			
② 人件費(千円)	871	人工	964	人工	931	人工		人工		人工
正規	775	0.1	865	0.11	846	0.11				
嘱託	96	0.0	99	0.03	86	0.03				
合計コスト①+②	175,634		176,269		175,062		186,640			
前年度比	—		100.4%		99.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	城山介護老人保健施設管理運営事業
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	城山介護老人保健施設管理運営事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H10

介護を必要とする高齢者の方への看護・介護サービスや機能訓練などにより、心身の自立と在宅復帰の援助をする施設である保健・医療・福祉サービス機能を備えた介護保険施設の維持管理をするものです。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

平成28年度までは、特別会計を設置し、指定管理者委託料金制度により、本市からは委託料と施設整備費(工事費)及び建設費の市債償還費を支出していました。

平成29年度からは、指定管理者利用料金独立採算制を採用し、本課からの支出は、指定管理者との協定に基づき、30万円以上の修繕や各種工事請負費となりました。

(単位:円)

		H30
工事請負費	受変電設備更新工事	3,132,000
	本館ボイラー整備工事	896,400
	E棟他ボイラー整備工事	702,000
修繕料	消防設備修繕	1,188,000
	合計	5,918,400

<現状に対する認識>

介護老人保健施設は、在宅復帰を目指す施設であり、国は介護保険制度において在宅介護を推奨していることから、重要な役割を担っています。

平成29年度から指定管理者利用料金独立採算制度に移行し、事業を継続していくものです。指定管理者の収支の1/2を納付金として収納し、施設の維持管理に充当していく計画となっています。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市城山介護老人保健施設維持管理計画進捗状況(累計)				
指標の設定理由					
目標値	140,699	140,699	140,699	140,699	140,699
実績値	59,298	94,119	99,359		
達成度	42.1%	66.9%	70.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	692,564		34,821		5,918		10,180			
国・県										
利用者負担金										
その他					5,918		10,180			
一般財源	692,564		34,821							
② 人件費(千円)	3,370	人工	171	人工	26	人工		人工		人工
正規	2,999	0.390	154	0.02	23	0.003				
嘱託	371	0.130	17	0.006	3	0.001				
合計コスト①+②	695,934		34,992		5,944		10,180			
前年度比	—		5.0%		17.0%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人福祉施設措置事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	老人福祉施設措置費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

居住環境や虐待等家庭の問題などにより自宅において生活することが困難な高齢者の権利擁護をするものです。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

養護老人ホームに入所措置をとり、その者の生活維持にかかる経費を施設に支払うものです。国で決められた単価により計上し、支出しています。

措置人員 (単位:人)

	H28	H29	H30
松風園	94	92	93
それ以外	92	95	104

それ以外…岡谷和楽荘、聖母寮、寿和寮、木曾寮、鹿島荘、普携寺香風園、光の園、温心寮、安曇寮

※数値は各年度3月31日現在

<現状に対する認識>

介護認定・障害認定の有無等、入所者の身体的な状況により措置費の増減が生じますが、入所者数は増加傾向にあるため、状況を注視し予算要求等に反映していきます。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	自宅生活困難な高齢者を擁護する事業のため目標設定不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	352,479		359,018		376,138		385,130			
国・県										
利用者負担金	85,701		92,164		98,907		95,670			
その他										
一般財源	266,778		266,854		277,231		289,460			
② 人件費(千円)	904	人工	1,014	人工	1,114	人工		人工		人工
正規	804	0.10	929	0.12	1,000	0.13				
嘱託	99	0.03	86	0.03	114	0.04				
合計コスト①+②	353,383		360,032		377,252		385,130			
前年度比	—		101.9%		104.8%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者緊急通報装置設置事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者緊急通報装置設置事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

ひとり暮らし高齢者、重度の身体障害者等の救急、救助活動の充実を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

災害、事故、急病等の緊急事態に機敏に行動することが困難なひとり暮らし高齢者、重度の身体障害者を対象に緊急通報装置を設置するもの

<現状に対する認識>

平成26年10月から民間事業者に業務委託している。事業の周知を行い利用の拡大を図っていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	高齢者緊急通報装置設置台数				
指標の設定理由	見守り体制の強化				
目標値	500	500	500	500	500
実績値	463	459	434		
達成度	92.6%	91.8%	86.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,448		11,107		9,054		9,410			
国・県										
利用者負担金	1,737		1,768		1,754		1,690			
その他										
一般財源	7,711		9,339		7,300		7,720			
② 人件費(千円)	422	人工	518	人工	518	人工		人工		人工
正規	308	0.04	461	0.06	461	0.06				
嘱託	114	0.04	57	0.02	57	0.02				
合計コスト①+②	9,870		11,625		9,572		9,410			
前年度比	—		117.8%		82.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者お薬支援事業 高齢者口腔ケア支援事業
-------	--------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

- ①高齢者の歯科衛生及び口腔機能の向上を図るため、松本歯科医師会が、実施している、特別養護老人ホーム等入所者の歯科検診等指導に、当該事業費の一部を補助することにより、栄養改善、介護予防を図るもの。  
②松本市薬剤師会へ委託、35地区の福祉ひろばを利用し、高齢者の服薬についての指導や相談を行ない、正しい知識を習得し、介護予防に努めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 歯科医師会への補助金  
申請受付、松本市補助金要綱に基づき、補助金交付を決定  
決定を受け、市内3施設の特別養護老人ホーム入所者の歯科検診等を実施した、松本市歯科医師会に補助金を支出します。
- 2 松本市薬剤師会へ業務委託(事業名:松本市お薬なんでも講座)  
松本薬剤師会が、業務委託契約により、市内の福祉ひろばにて実施  
高齢者の、安全・安心な服用を通じて介護予防に努めている。

(単位:人)

		H28	H29	H30
1	健診者数(人)	209	215	218
	義歯ネーミング数(床)	54	45	40
2	開催箇所	29	30	31
	参加者数(人)	1,151	1,052	1,075

<現状に対する認識>

今後も継続していくのか、歯科医師会、薬剤師会とも協議しながら、今後の事業展開を図ります。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市お薬なんでも講座参加者数(人)				
指標の設定理由					
目標値	850	900	950	1,000	1,050
実績値	1,151	1,052	1,075		
達成度	135.4%	116.9%	88.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	414	414	414	420	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	414	420	414	420	
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	人工
正規	0	0.0003	0	0.0002	2
嘱託	0	0.0001			
合計コスト①+②	414	414	416	420	
前年度比	—	100.0%	100.4%	—	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	寝台タクシー利用料金助成事業 公共交通空白地有償運送事業
-------	---------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—		松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

12～

- 寝台タクシーの利用料を助成することで、低所得の要介護認定者の通院や施設利用時の負担軽減をはかるもの
- 交通機関空白の過疎地における移動手段確保のため道路運送法の許可を得て運送事業を行うNPO団体等に、事業実績に基づいて補助金を支払い、その活動を支援するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 要介護3以上の住民税非課税世帯で、通常車両への乗車が不可能な者に対して、年間6枚の寝台タクシーの利用券を助成

寝台タクシー利用料金助成実績

	H28	H29	H30
件数	41	56	61
補助金額(円)	115,680	174,680	178,510

- 四賀・安曇・奈川地区に居住する、65歳以上の高齢者または障害者手帳の交付を受けている者等の通院等に係る送迎を行った際、その走行距離に応じて送迎を行ったNPO団体等に補助金支出

公共交通空白地有償運送実績

	H28	H29	H30
件数	2,034	2,154	2,467
補助金額(円)	5,077,800	5,188,200	5,726,600

<現状に対する認識>

当該事業に係る市民の移動手段確保のため、引き続き助成を行います。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	過疎地かつ高齢者・障害者を対象とした事業のため目的設定不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,193		5,362		5,905		5,870			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,193		5,362		5,905		5,870			
② 人件費(千円)	26	人工	28	人工	28	人工		人工		人工
正規	23	0.003	25	0.003	25	0.0033				
嘱託	3	0.001	3	0.001	3	0.001				
合計コスト①+②	5,219		5,390		5,933		5,870			
前年度比	—		103.3%		110.1%		—			

**事務事業評価票**

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	緊急ショートステイ事業/ナイトケア 利用料金助成事業/生活管理指導 短期宿泊事業/高齢者訪問理美容 料金助成事業/高齢者住宅等整備 事業
-------	--

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	在宅介護24時間あんしん支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 緊急ショートステイ事業  
介護者の急病などにより、一時的に在宅での生活が困難となった要介護高齢者を養護老人ホーム温心寮で短期間(概ね1週間)入所受入れするもの  
・対象者 要介護(要支援)認定者  
・利用者負担 1日1,450円(食費別)
- ナイトケア利用料金助成事業  
デイサービスセンター等の利用者が引き続きその施設へ宿泊する場合に、利用料金の一部を助成するもの  
・対象者 要介護(要支援)認定者・事業対象者  
・補助額 費用の7割(7,000円を上限)  
・利用 年間12泊以内(1カ月3泊以内)
- 生活管理指導短期宿泊事業  
一時的に在宅生活が困難となった1人暮らし等の高齢者を、養護老人ホーム(松風園、温心寮)で短期間入所受入れするもの  
・利用者負担 1日400円(食費別)
- 高齢者訪問理美容料金助成事業  
65歳以上で寝たきり等の高齢者が、自宅で訪問理美容を利用する場合に料金の一部を助成  
・事業内容 1枚3,000円の助成券を最大年6枚交付(~平成29年度)  
※ 1枚1,000円の助成券を最大年18枚交付(平成30年度~)
- 高齢者住宅等整備事業  
高齢者の自立支援及び介護者の負担軽減を図るための住宅改修について、経費の一部を補助するもの  
・対象者 前年所得税非課税世帯  
・補助対象限度額 70万円  
・自己負担額 補助対象額の1割

<現状に対する認識>

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ナイトケア利用料金助成券延べ利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	1,350	1,400	1,450	1,500	1,600
実績値	1,483	1,698	1,805		
達成度	109.9%	121.3%	124.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	25,037		17,712		18,001		20,990			
国・県	6,714		5,429		4,860		6,260			
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,323		12,283		13,141		14,730			
② 人件費(千円)	24,242	人工	14,999	人工	18,422	人工		人工		人工
正規	17,687	2.30	10,382	1.35	13,150	1.71				
嘱託	6,555	2.30	4,617	1.62	5,273	1.85				
合計コスト①+②	49,279		32,711		36,423		20,990			
前年度比	—		66.4%		111.3%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護保険利用者負担軽減事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	介護保険利用者負担軽減事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

低所得で生計が困難な方について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が、その社会的な役割にかんがみ、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ることを目的とするもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 社会福祉法人等利用者負担軽減確認証の発行  
申請受付及び審査に基づき確認証を発行し、確認証の提示を受けた各法人等は、確認証に記載された段階に応じて、介護サービス等の自己負担分を減免することで、低所得者の負担軽減を図っています。
- 各法人への補助金  
国の制度に基づき、県費及び市費を財源として、上記1により利用者の自己負担分を軽減した法人に対して、補助金を支出します。

<現状に対する認識>

国の制度改正により、対象要件(所得要件)が厳格化されるなど、事業としては縮小傾向にあります。国県等の動向に注視し、今後の事業展開を図ります。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	低所得者への負担軽減のため目的設定不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	13,495		13,568		10,987		13,070			
国・県	2,607		2,290		1,759		2,415			
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,888		11,278		9,228		10,655			
② 人件費(千円)	67	人工	61	人工	60	人工		人工		人工
正規	60	0.008	55	0.007	54	0.007				
嘱託	7	0.003	6	0.002	6	0.002				
合計コスト①+②	13,562		13,629		11,047		13,070			
前年度比	—		100.5%		81.1%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護保険事業計画見直し事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	介護保険事業計画見直し事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

30 ~ 32

団塊の世代が後期高齢者となる2025年の介護需要を見据え、第7期介護保険事業計画において、地域包括ケアシステム・松本モデルや、認知症等の施策の充実を図り、第6期介護保険事業計画の取組みを更に推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 地域包括支援センターの機能強化  
各地域包括支援センターの職員を1名増員
- 認知症地域支援の推進  
認知症の方やその家族に対し、地域で支えるための体制づくりを支援するため、認知症カフェの開設及び運営に対する補助制度を新設

<現状に対する認識>

地域包括ケアシステム・松本モデルの構築について更なる推進を図り、高齢者の自立支援・介護予防・重度化防止の推進をするため、PDCAサイクルを活用し、保険者機能の強化を図っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	項目が多岐に渡り、計画全体に対しての目標値設定が不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,225		1,401		502		1,970			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,225		1,401		502		1,970			
② 人件費(千円)	6	人工	7	人工	5	人工		人工		人工
正規	5	0.0007	7	0.0009	2	0.0003				
嘱託	1	0.0002	1	0.0002	3	0.0009				
合計コスト①+②	1,231		1,408		507		1,970			
前年度比	—		114.4%		36.0%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者介護手当等給付事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者介護手当等給付事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

重度の要介護者を家庭で介護している者及び家族の福祉の増進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

重度の要介護者(要介護3～5の方)を家庭で介護している介護者に介護手当を支給するもの

1 対象者  
65歳以上の要介護者を、基準日(5月1日又は11月1日)または死亡において、1年間通算して180日以上または、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している者

2 支給額  
年額 10万円  
(死亡の場合、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している場合は5万円)

<現状に対する認識>

平成31年度に、国の補助金の支給要綱が改正されるのを受け、制度の見直しを行い市単事業として実施します。

1 支給年額 10万円 → 6万円  
(死亡の場合) 5万円 → 3万円

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	慰労金給付による福祉増進事業のため目標値設定不可能				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	87,997		82,119		81,600		91,170			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	87,997		82,119		81,600		91,170			
② 人件費(千円)	4,427	人工	5,647	人工	5,443	人工		人工		人工
正規	3,230	0.42	5,009	0.66	4,845	0.63				
嘱託	1,197	0.42	637	0.22	599	0.21				
合計コスト①+②	92,424		87,766		87,043		91,170			
前年度比	—		95.0%		99.2%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者介護手当等給付事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	家庭介護支援事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

重度の要介護者を家庭で介護している者及び家族の福祉の増進を図るもの
-----------------------------------

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

重度の要介護者(要介護3～5の方)を家庭で介護している介護者に介護手当を支給するもの

1 対象者  
65歳以上の要介護者を、基準日(5月1日又は11月1日)または死亡において、1年間通算して180日以上または、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している者

2 支給額  
年額 10万円  
(死亡の場合、前年の基準日から死亡日までの間に通算して90日以上180日未満在宅介護している場合は5万円)

<現状に対する認識>

平成31年度に、国の補助金の支給要綱が改正されるのを受け、制度の見直しを行い市単事業として実施ます。

1 支給年額 10万円 → 6万円  
(死亡の場合) 5万円 → 3万円

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	慰労金給付による福祉増進事業のため目標値設定不可能				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	69,701		70,388		69,514		360			
国・県	40,775		41,177		40,665		200			
利用者負担金										
その他	15,334		15,485		15,294		80			
一般財源	13,592		13,726		13,555		80			
② 人件費(千円)	3,373	人工	4,439	人工	14,256	人工		人工		人工
正規	2,461	0.32	3,947	0.52	12,689	1.65				
嘱託	912	0.32	492	0.17	1,568	0.55				
合計コスト①+②	73,074		74,827		83,770		360			
前年度比	—		102.4%		112.0%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	認定調査事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	認定調査費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

介護の必要な方や介護が必要となるおそれのある方が、要介護(要支援)認定を受けることにより、介護保険による在宅や施設の介護(予防)サービスを利用できるようになり、要介護(要支援)者の自立支援や介護者の負担軽減が図られる

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の内容

認定調査員が自宅、病院、施設等を訪問して、要介護(要支援)者の心身の状況等を調査する。実施後、介護認定審査会での審査・判定を経て、要介護(要支援)認定を行ない、対象者に通知する。

2 実績

平成30年度 認定者数 11,214人

<現状に対する認識>

・高齢者人口の増加に伴い、引き続き同水準の申請件数が見込まれ、迅速かつ適切に要介護(要支援)認定を行ない、介護保険制度の安定運営を図る必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	申請に基づく調査のため目標値設定不可能				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	92,096		87,434		95,287		83,490			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	92,096		87,434		95,287		83,490			
② 人件費(千円)	99,181	人工	85,025	人工	97,525	人工		人工		人工
正規	72,363	9.41	58,829	7.65	69,595	9.05				
嘱託	26,819	9.41	26,196	9.19	27,930	9.8				
合計コスト①+②	191,277		172,459		192,812		83,490			
前年度比	—		90.2%		111.8%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護保険給付
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	保険給付費(款)

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H12

介護保険制度に基づき、要介護・要支援認定を受けた被保険者が利用する介護サービスへ給付するもの  
介護保険料50%と公費(国・県・市)50%が財源

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

介護保険サービス事業者及び被保険者から提出される介護給付費請求明細書等の審査及びその決定に基づく支払。

要介護1~5	要支援1~2
居宅介護サービス給付費	介護予防サービス給付費
特例居宅介護サービス給付費	特例介護予防サービス給付費
地域密着型介護サービス給付費	地域密着型介護予防サービス給付費
特例地域密着型介護サービス給付費	特例地域密着型介護予防サービス給付費
施設介護サービス給付費	介護予防福祉用具購入費
特例施設介護サービス給付費	介護予防住宅改修費
居宅介護福祉用具購入費	介護予防サービス計画費
居宅介護住宅改修費	特例介護予防サービス計画費
居宅介護サービス計画給付費	高額介護予防サービス費
特例居宅介護サービス計画給付費	高額医療合算介護予防サービス費
高額介護サービス費	特定入所者介護予防サービス費
高額医療合算介護サービス費	特例特定入所者介護予防サービス費
特定入所者介護サービス費	
特例特定入所者介護サービス費	

<現状に対する認識>

高齢化社会の進展に比例し、全国的に保険給付費が増大し、介護保険財政への圧迫が課題となっています。  
介護給付へ至らないためにも、予防事業の充実が必要となっています。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	第7期介護保険事業計画に基づく計画値(単位:円)				
指標の設定理由	達成率が100%を超えると赤字となる				
目標値	20,412,660,000	20,429,970,000	20,085,570,000	20,665,690,000	21,299,310,000
実績値	19,494,883,669	19,574,891,581	19,644,862,422		
達成度	95.5%	95.8%	97.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	19,494,883	19,574,891	19,644,862	20,665,690		
国・県・他	12,900,049	12,943,788	12,670,936	13,329,370		
利用者負担金						
その他(1号保険料)	4,158,083	4,184,725	4,518,318	4,753,109		
一般財源	2,436,750	2,446,378	2,455,608	2,583,211		
② 人件費(千円)	97,139	人工	107,770	人工	100,934	人工
正規	86,459	11.24	96,740	12.58	89,819	11.68
嘱託	10,681	3.75	11,030	3.87	11,115	3.9
合計コスト①+②	19,592,022	19,682,661	19,745,796	20,665,690		
前年度比	—	100.5%	100.3%	104.7%		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	訪問型サービス事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	訪問型サービス事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

住民等多様な主体が参画する市町村独自の多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、適切なサービスにより要支援者等に対する効果的な自立支援を可能とすることを旨とする。さらに、訪問型・通所型サービスのみを利用する場合は迅速なサービス利用も可能となった。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

現行の訪問型サービス(介護予防相当)に加えて、有資格者等による身体介護を伴わない緩和した基準によるサービス(訪問型サービスA)を実施

1 訪問型サービス指定状況	H28年度	H29年度	H30年度
・介護予防相当	61事業所	56事業所	60事業所
・サービスA	11事業所	15事業所	23事業所
2 訪問型サービス利用状況	H28年度	H29年度	H30年度
・介護予防相当	5,149件	8,935人	8,805人
・サービスA	67人	437人	658人

<現状に対する認識>

・平成28年度末から、地域支援事業へ移行した。  
 ・サービス利用の希望があった方に対し、総合事業について十分な説明を行い、自立支援と予防的な視点で、地域活動をはじめとして効率的で適切なサービスが選択できるよう支援する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	サービスA利用者数 延べ件数/年				
指標の設定理由	サービスの利用状況が直接的に分かるため				
目標値	80	450	700	750	800
実績値	67	437	658		
達成度	83.8%	97.1%	94.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	79,395		168,167		167,487		175,910			
国・県	29,773		63,062		62,807		65,966			
利用者負担金										
その他	39,697		84,083		83,743		87,955			
一般財源	9,925		21,022		20,937		21,989			
② 人件費(千円)	12,373	人工	15,821	人工	14,644	人工		人工		人工
正規	10,920	1.42	13,534	1.76	12,535	1.63				
嘱託	1,454	0.51	2,287	0.80	2,109	0.74				
合計コスト①+②	91,768		183,988		182,131		175,910			
前年度比	—		200.5%		99.0%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	通所型サービス事業費
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	通所型サービス事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

住民等多様な主体が参画する市町村独自の多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、適切なサービスにより要支援者等に対する効果的な自立支援を可能とすることを旨とする。さらに、訪問型・通所型サービスのみを利用する場合は迅速なサービス利用も可能となった。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

現行の通所型サービス(介護予防相当)に加えて、人員等緩和した基準によるサービス(通所型サービスA)や6か月間の短期集中予防サービス(通所型サービスC)を実施

1 通所型サービス指定状況	H28年度	H29年度	H30年度
・介護予防相当	100事業所	97事業所	99事業所
・サービスA	10事業所	12事業所	18事業所
・サービスC	10事業所	11事業所	9事業所
2 通所型サービス利用状況	H 28年度	H29年度	H30年度
・介護予防相当	10,900人	20,460人	21,082人
・サービスA	1,640人	1,732人	2,161人
・サービスC	220人	100人	65人

<現状に対する認識>

・平成28年度末から、地域支援事業へ移行した。  
 ・サービス利用の希望があった方に対し、総合事業について十分な説明を行い、自立支援と予防的な視点で、地域活動をはじめとして効率的で適切なサービスが選択できるよう支援する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	サービスA利用状況 述べ件数/年				
指標の設定理由	サービス利用状況が直接的に分かるため				
目標値	1,800	1,850	1,900	2,200	2,300
実績値	1,640	1,732	2,161		
達成度	91.1%	93.6%	113.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	275,862	591,358	622,080	635,140		
国・県	103,448	221,759	233,280	238,177		
利用者負担金						
その他	137,931	295,679	311,040	317,570		
一般財源	34,483	73,920	77,760	79,393		
② 人件費(千円)	43,196	人工	55,715	人工	54,439	人工
正規	38,066	4.95	47,678	6.20	46,601	6.06
嘱託	5,130	1.80	8,037	2.82	7,838	2.75
合計コスト①+②	319,058	647,073	676,519	635,140		
前年度比	—	202.8%	104.6%	—		



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護予防ケアマネジメント事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

全国一律の介護予防給付から地域の実情に応じた、住民等多様な主体が参画する市町村独自の多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効率的な自立支援を可能とすることを目指す。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

高齢者の個々の状態にあったサービス(訪問型・通所型・その他の生活支援等)を効率的に実施できるよう支援する。

1 介護予防ケアマネジメント	H29年度	H30年度
・ケアマネジメントA(原則的マネジメント)	14,105件	14,727件
・ケアマネジメントB(簡略型)	1,192件	1,166件

<現状に対する認識>

・地域の実情に応じた、自立支援のケアマネジメントが実施できるよう、ケアマネジメントの質の確保を目指し、高齢者自身が自立した日常生活を送れるよう支援する。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ケアマネジメントB 作成件数/年				
指標の設定理由	多様なサービスの利用状況が反映されるため				
目標値	1,500	1,500	1,600	1,600	1,700
実績値	1,350	1,192	1,166		
達成度	90.0%	79.5%	72.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	38,077		64,564		61,580		72,830			
国・県	14,278		24,211		23,092		27,311			
利用者負担金										
その他	19,038		32,283		30,790		36,415			
一般財源	4,761		8,070		7,698		9,104			
② 人件費(千円)	5,942	人工	6,007	人工	5,384	人工		人工		人工
正規	5,229	0.68	5,152	0.67	4,614	0.6				
嘱託	713	0.25	855	0.30	770	0.27				
合計コスト①+②	44,019		70,571		66,964		72,830			
前年度比	—		160.3%		94.9%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護予防対象者把握事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護予防対象者把握事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

地域の実情に応じて、効率的に収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動等へつなげる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

健康自立度調査  
満65歳、75歳(事業対象者・要介護等認定者を除く)を対象に、閉じこもり等何らかの支援を有する者を、国が示した「基本チェックリスト」により把握する。

1 調査結果

(1) 回収率 74.5% (29年度 75.3%)  
(2) 基準該当者数 834人 (65歳 328人・75歳 506人)  
(3) 出現率 21.9% (29年度 21.5%)  
(4) 結果報告書の作成 結果を活用し、今後の介護予防啓発活動を行う

2 基準該当者の実態把握調査  
「基本チェックリスト」基準該当者中、最も多い「口腔機能低下」の75歳を対象に実態把握、「無料歯科健診」受診勧奨、介護予防についての啓発を実施

(1) 対象者数 348人  
(2) 実態把握者数 302人  
(3) 実態把握率 86.8%  
(4) 結果 セルフケア未実施者(24%)に介護予防活動紹介、歯科健診受診・定期受診者は74%

3 平成28年度基準該当者の追跡調査

(1) 対象者 937人  
(2) 実態把握者数 932人  
(3) 実態把握率 99.5%  
(4) 結果 把握した932人のうち、現在も介護認定等を受けず自立が871人(93.0%)

<現状に対する認識>

市独自の把握方法として、平成28年度から年齢を限定し健康自立度調査を実施してきたが、調査で把握した基準該当者を効率的に地域活動につなぐことができないことから、実施方法を見直すこととした。今後は、地域包括支援センターの活動の中で、総合相談、地域活動、関係部局との連携や新たに設置する生活支援コーディネーターとの連携によって、支援を要する高齢者の早期発見を行い、地域の介護予防活動等へつないでいく。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	介護予防のための自立度調査回収率(%)				
指標の設定理由	調査実施自体の評価が直接できるため				
目標値		73.0	76.0	-	-
実績値	72.3	75.3	74.5		
達成度		103.2%	98.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	2,628	2,429	2,450	0		
国・県	985	910	918			
利用者負担金						
その他	1,314	1,214	1,225			
一般財源	329	305	307			
② 人件費(千円)	410	人工 187	人工 182	人工	人工	
正規	361	0.05	154	0.02	154	0.02
嘱託	48	0.02	33	0.01	29	0.01
合計コスト①+②	3,038	2,616	2,632	0		
前年度比	-	86.1%	100.6%	-		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護予防普及啓発事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護予防普及啓発事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	1	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

介護予防への関心を高めるため、身近な地域で講座等を開催し、より多くの市民に介護予防に関する知識や情報を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 介護予防講座の開催

(1) ひざ痛予防講座  
 身近な場所で、運動機能の向上を目的とした取組みが継続して行えるように、12回コースの講座を実施。ひざ痛予防の運動を主として行い、講座終了後は自主的に実施できるよう指導  
 ア 講座数 3 (延指導回数34回)  
 イ 参加者数 588人  
 ウ 結果 講座終了後自主サークル化 100% (週1回継続中)

(2) 地区介護予防講座  
 地区の実情に合わせ計画し、運動機能向上・口腔機能改善等、介護予防に関わる集団講話・集団実技  
 ア 開催数 198回  
 イ 参加延数 4,200人

(3) 介護予防講座開催マニュアルの作成(地域包括支援センターへ配布)

2 高齢者の元気応援プロジェクト推進事業  
 一般介護予防事業に積極的に取組む事業所(団体)に認定証を発行するとともに、自主的な介護予防活動へ参加する市民を把握するもの  
 (1) 登録団体数 1  
 (2) 延参加者数 228人

3 「高齢者福祉のしおり」の作成  
 介護保険制度、相談窓口、介護予防等について出前講座や窓口での周知

<現状に対する認識>

単なる行政主導による講座ではなく、住民が主体的に介護予防に取り組めるように支援する方法へ変更していく。「ひざ痛予防講座」は終了し、一般会計予算で「自主サークル活動支援事業」として、広く進めていく。  
 今後は、生活支援コーディネーター等の活動を通じ、町会サロン等地区の様々な集りを活用し、介護予防に取り組む体制を強化する。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	介護予防講座開催数(回)				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた回数				
目標値	118	118	83	200	200
実績値	158	113	201		
達成度	133.9%	95.8%	242.2%		
② 成果指標(指標名)	介護予防講座参加者数(人)				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた人数				
目標値	3,410	2,470	2,620	4,200	4,200
実績値	3,113	2,205	4,788		
達成度	91.3%	89.3%	182.7%		

目標値

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	2,366	1,994	1,384	1,500		
国・県	887	747	519	562		
利用者負担金						
その他	1,183	997	692	750		
一般財源	296	250	173	188		
② 人件費(千円)	20,850	人工 13,516	人工 94	人工	人工	
正規	19,225	2.5	11,233	1.48	77	0.01
嘱託	1,625	0.57	2,283	0.79	17	0.006
合計コスト①+②	23,216	15,510	1,478	1,500		
前年度比	—	66.8%	9.5%	—		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域介護予防活動支援事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	地域介護予防活動支援事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり
松本版総合戦略		⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

住民主体の通いの場等の活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援し、誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指す。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

住民主体の介護予防活動に携わるボランティア等の、担い手の人材を育成するための講座を開催

1 高齢者サポーター養成講座の開催

- (1) 回数 1コース5回
- (2) 参加者 36名
- (3) 修了者 30名
- (4) 修了率 83.3%(修了者/参加者 の割合)
- (5) 内容
  - ア 地域包括ケアと介護保険制度
  - イ 高齢者の心身の特性
  - ウ 介護の基本、介護用品と効果
  - エ ボランティア活動について
  - オ 住民主体の活動事例報告

2 平成28年度からの修了生(登録者) 210名

<現状に対する認識>

平成28年度から実施、修了者(高齢者サポーター)のスキルアップと、実際の活動につなげていくよう、今後は、地域包括支援センターに配置している第1層の生活支援コーディネーターと地域づくりセンターに配置予定の第2層生活支援コーディネーターが中心となって、人材を地区単位でまとめ、実際の介護予防や生活支援サービスの活動に結び付けをする必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	高齢者サポーター養成講座修了者数(人)				
指標の設定理由	地域の支え手となる新たな高齢者サポーターの数を把握できるため				
目標値	90	90	50	50	50
実績値	87	93	30		
達成度	96.7%	103.3%	60.0%		
② 成果指標(指標名)	高齢者サポーター養成講座修了率(%)				
指標の設定理由	年度ごと講座数、定員が変更になっても評価できるため				
目標値	90	93	94	94	94
実績値	92.5	93.9	83.3		
達成度	102.8%	101.0%	88.6%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	32		33		66		150			
国・県	12		12		25		56			
利用者負担金					33		75			
その他	16		16							
一般財源	4		5		8		19			
② 人件費(千円)	5	人工	3	人工	5	人工		人工		人工
正規	5	0.0006	2	0.0003	5	0.0006				
嘱託	1	0.0002	0	0.0001	1	0.0002				
合計コスト①+②	37		36		71		150			
前年度比	—		95.7%		200.0%		210.7%			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	総合相談事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	総合相談事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

地域の高齢者の困りごとの相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会の運営
  - 地域包括支援センターの活動実績・事業評価の報告
  - 〃 の運営方針・事業計画の協議
  - 地域密着型サービス事業予定者の審査
  - 中央地域包括支援センター運営事業予定者の審査
  - 地域包括支援センターの取組状況の報告等
- 地域包括支援センター介護予防支援事業(総合相談事業委託料)  
相談件数 26,816件(前年度22,002件) 対前年比 121.8%

<現状に対する認識>

・平成30年度から、生活支援体制の構築の推進及び地域包括支援センターの業務量に応じた要員とするため、センターの職員を1名増員し、更なる市民サービスの向上につなげ、安心して地域で暮し続けられるようにするもの

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地域包括支援センターへの相談件数				
指標の設定理由	地域包括支援センターは、高齢者の身近な相談窓口のため				
目標値	18,000	19,500	22,000	22,000	22,000
実績値	18,580	22,002	26,816		
達成度	103.2%	112.8%	121.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	75,482	71,400	79,987	74,150		
国・県	44,156	41,769	46,193	42,822		
利用者負担金						
その他	16,606	15,708	18,397	17,054		
一般財源	14,720	13,923	15,397	14,274		
② 人件費(千円)	11,778	人工	6,661	人工	6,996	人工
正規	10,382	1.35	5,691	0.74	5,998	0.78
嘱託	1,397	0.49	971	0.34	998	0.35
合計コスト①+②	87,260	78,061	86,983	74,150		
前年度比	—	89.5%	111.4%	—		

**事務事業評価票**

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	権利擁護事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	権利擁護事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

30~

高齢者への虐待防止や認知症高齢等への成年後見制度の活用・支援等を進め、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるようにする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会の運営
- 成年後見センターとの連携(2市5村による運営費補助)  
高齢者等の権利擁護のため、成年後見制度の啓発活動や相談・手続き等の支援  
(1) 相談件数 750 件(H29年度695件)  
(2) 支援回数11,802 回(H29年度12,928回)
- 成年後見制度利用促進に関する関係市村との打合せ会議の開催

<現状に対する認識>

成年後見制度の必要性は高まる一方、本人の資力がなく、弁護士等へ依頼することができないため、法人後見制度を利用する案件も増加する傾向にあることから、今後は市民後見人養成等、受任の体制整備を充実させることが必要。

また、成年後見制度利用促進のため、中核機関の設置等関係市村と引き続き検討を行う必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	法人後見受任件数				
指標の設定理由	成年後見制度の利用拡大を図る直接的な数値のため				
目標値	76	75	75	75	75
実績値	76	75	75		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	市民後見人受任件数(単独受任)				
指標の設定理由	成年後見制度の利用拡大を図る直接的な数値のため				
目標値	2	4	6	8	10
実績値	1	3	7		
達成度	50.0%	75.0%	116.7%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	14,238		17,513		16,250		81,070			
国・県	79		81		99		34,771			
利用者負担金										
その他	29		30		39		13,848			
一般財源	14,130		17,402		16,112		32,451			
② 人件費(千円)	2,256	人工	1,598	人工	1,353	人工		人工		人工
正規	1,999	0.26	1,366	0.18	1,154	0.15				
嘱託	257	0.09	232	0.08	200	0.07				
合計コスト①+②	16,494		19,111		17,603		81,070			
前年度比	—		115.9%		92.1%		—			

**事務事業評価票**

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域包括ケアシステム構築事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	地域包括ケアシステム構築事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳のある生活を可能な限り継続できるように、介護・医療・予防・生活支援・住まいの連携による「地域包括ケアシステム」の構築・推進を目指す。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地域包括ケアシステム構築のための取組み

- 地域包括ケア会議の開催  
開催地区数: 34地区 開催回数: 117回 (地区 76回・個別 41回)
- 在宅医療・介護連携の実践に向けた多職種連携
  - 多職種連携研修会  
平成30年11月3日 参加者数: 171人
  - 地域包括支援センター毎の多職種連携研修会  
全12センターで開催 38回
  - 入退院時連携ルールの運用  
運用開始 平成30年4月  
運用状況調査の実施 2回
- 市民への周知
  - 市民啓発講演会  
平成30年12月2日 参加者数: 510人
  - 地域包括ケア取組み事例の周知  
地域ケア会議後に、取組みがすすんだ地区の活動をまとめた事例集 (vol.2vol.3)を作成、関係職員や民生・児童委員、市民等へ周知
- 地域包括ケア協議会等の開催
  - 松本市地域包括ケア協議会 2回
  - 在宅医療・介護連携研修会 3回 (連携推進事業の検討等)
  - 生活支援体制整備委員会 3回 (生活支援コーディネーターの設置)
  - 庁内推進会議及び幹事会 4回 (庁内推進会議 2回・幹事会 2回)

<現状に対する認識>

医療と介護の専門職を含めた地域ケア会議等を通じて、地域の顔が見える関係が出来始めている。特に、今年度は、地域づくり部を始め、地域づくり関係課の協力のもと、地域ケア会議が複数回開催された地区も多くあった。生活支援コーディネーターを平成31年度から7地区、4年間をかけて全35地区へ配置することをきっかけにして、今後さらに地域包括ケアシステムの推進を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地域ケア会議の開催回数(回)				
指標の設定理由	地域包括ケアシステム構築するうえでの一つの手法であるため				
目標値	50	60	70	105	105
実績値	48	74	117		
達成度	96.0%	123.3%	167.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	5,058	5,056	4,986	5,590						
国・県	2,958	2,957	2,879	3,228						
利用者負担金										
その他	1,112	1,112	1,146	1,285						
一般財源	988	987	961	1,077						
② 人件費(千円)	778	人工	476	人工	365	人工		人工		人工
正規	692	0.09	408	0.05	308	0.04				
嘱託	86	0.03	69	0.02	57	0.02				
合計コスト①+②	5,836		5,532		5,351		5,590			
前年度比	—		94.8%		96.7%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント事業
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	包括的・継続的ケアマネジメント事業費

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—		松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるよう、高齢者の変化に応じたケアマネジメント(介護保険サービスを利用するためケアプラン作成等)を行うため、ケアマネジャーとの相互の連携をはかる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	
1 地域包括支援センター介護予防ケアマネジメント実施状況	
介護予防サービス計画	25,796人
ケアマネジメントA	14,727人
ケアマネジメントB	1,166人
2 地域ケア会議等開催 76回	
地域ケア会議へのケアマネジャーの参加	38回
ケアマネジャー延べ参加人数	92人
ケアマネジャーからの相談や困難事例等による個別ケア会議	41回
個別地域ケア会議へのケアマネジャーの参加	31回 延べ33人
3 ケアマネジャー勉強会の開催	
開催回数	10回
参加者数	1,477人

身の周りの動作(ADL)は自立しているが、買物や調理などの生活行為の一部が行いにくくなっている(IADL)人の、生活援助を行うためのマネジメントが適正に行えるよう、継続してケアマネの資質の向上を図る取組みが必要

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ケアマネジャー勉強会への事業所参加率				
指標の設定理由	適切なケアマネジメントを実施するためケアマネジャーへの研修を実施する				
目標値	76	75	75	75	75
実績値	68	69	70		
達成度	89.5%	92.0%	93.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	60,543		61,688		110,179		72,420			
国・県	35,417		36,087		63,628		41,822			
利用者負担金										
その他	13,319		13,571		25,342		16,657			
一般財源	11,807		12,030		21,209		13,941			
② 人件費(千円)	9,494	人工	5,760	人工	9,596	人工		人工		人工
正規	8,382	1.09	4,922	0.64	8,228	1.07				
嘱託	1,112	0.39	839	0.29	1,368	0.48				
合計コスト①+②	70,037		67,448		119,775		72,420			
前年度比	—		96.3%		177.6%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護給付費等費用適正化事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—		松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護給付費等費用適正化事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

介護保険事業を持続可能なものとするため、利用者に対する適正な介護サービスを確保し、適正な介護給付を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ケアプランの点検  
居宅介護支援事業所等への訪問や、介護支援専門員と保健福祉関係課職員等が出席する検討会の開催により、介護支援専門員が作成したケアプランの点検を行う。
- 介護給付算定相談票による介護給付算定内容の確認  
居宅介護支援事業所の介護支援専門員から、必要な場合に介護給付算定相談票の提出を受け、適切な介護給付であるかを確認する。
- 介護保険派遣相談員の派遣  
公募によって委嘱した8名の介護保険派遣相談員を介護保険事業所に派遣する。利用者への相談活動を行い、事業所のサービス等に対する不平や不満などを聞き取り、事業者及び保険者に橋渡しすることで、それらが苦情となることを未然に防ぎ、介護サービスの質の向上を図る。

<現状に対する認識>

・より効果的に事業を行うために、実施方法等の見直しを行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	適正な請求がされた介護保険の保険給付				
指標の設定理由	事業者がルールに従って適正に請求することが制度の信頼性を高めるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,766		4,530		5,704		6,790			
国・県	2,788		2,650		3,294		3,921			
利用者負担金										
その他	1,049		997		1,311		1,561			
一般財源	929		883		1,099		1,308			
② 人件費(千円)	24	人工	18	人工	26	人工		人工		人工
正規	22	0.0028	15	0.002	23	0.003				
嘱託	3	0.0009	2	0.0008	3	0.001				
合計コスト①+②	4,790		4,548		5,730		6,790			
前年度比	—		94.9%		126.0%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	訪問給食サービス事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	訪問給食サービス事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

食や栄養の確保による健康維持や疾病予防を図るとともに、配食の際に安否確認を行い、ひとり暮らし高齢者の孤独感の解消に努める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市内に居住する65歳以上の高齢者、障害者のみで構成された世帯に、週2食(四賀、安曇、梓川6食)を上限に昼食を配食するもの。  
 業者、担当地区、H30実績(延べ食数、月平均利用者数)  
 松本福祉事業協同組合(銀のオープン)

本庁管内、寿台、寿、内田、松原	9,451食	115人/月
労協ながの(ころぼっくる)		
寿台、寿、内田、松原を除く主張所管内及び本郷	8,111食	97人/月
松本市社会福祉協議会		
四賀、安曇、奈川	4,480食	26人/月
七つの鐘		
梓川	6,086食	26人/月
ぽっかぽっか		
波田	3,128食	34人/月
合計	31,256食	303人/月

<現状に対する認識>

現在5業者とは随意契約が続いている。  
 四賀、安曇、梓川は、他の地区より食数の上限が高い。  
 四賀、安曇は、委託料単価に地域加算が含まれている。  
 委託料単価(税込)四賀:982.8円 安曇1,002.24円 その他:702円  
 配食日数等、利用者の意向に合うサービスを検討する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間利用食数				
指標の設定理由	食の確保及び見守り体制の強化				
目標値	31,361	32,100	32,100	32,000	32,000
実績値	32,129	30,603	31,256		
達成度	102.4%	95.3%	97.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	23,731		22,805		22,717		26,080			
国・県	7,117		6,896		5,944		7,606			
利用者負担金	11,566		11,017		12,425		12,910			
その他	2,676		2,594		2,367		3,029			
一般財源	2,372		2,298		1,981		2,535			
② 人件費(千円)	1,159	人工	1,487	人工	1,555	人工		人工		人工
正規	846	0.11	1,344	0.17	1,384	0.18				
嘱託	314	0.11	143	0.05	171	0.06				
合計コスト①+②	24,890		24,292		24,272		26,080			
前年度比	—		97.6%		99.9%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	家庭介護支援事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	家庭介護支援事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

高齢者の自立支援や介護者の介護負担軽減を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 徘徊高齢者家族支援サービス事業  
徘徊のおそれがある高齢者のいる世帯に探知機を貸与して、行方不明時の早期発見に役立てるもの(月額500円 住民税非課税世帯は月額150円)
- 軽度生活援助事業  
草取りなどの軽度な生活支援を必要とする高齢者世帯へ、無料で生活援助員を派遣するもの(月1回 1時間以内)  
・委託先 松本地域シルバー人材センター、松本市社会福祉協議会
- 家庭介護用品支給事業  
住民税非課税世帯で要介護4・5の高齢者を在宅介護している介護者に対し、紙おむつ等の購入費用を助成するもの(年間5万円が上限)

<現状に対する認識>

・事業に対する需要があり、引き続き事業を継続して高齢者の自立支援や介護負担軽減に寄与する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	軽度生活援助事業延べ利用者数(人)				
指標の設定理由	在宅介護支援の指標となるため				
目標値	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600
実績値	1,868	1,658	1,574		
達成度	84.9%	72.1%	65.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	13,351	12,644	12,911	12,650		
国・県	6,753	6,453	6,535	6,191		
利用者負担金	46	37	45	40		
その他	2,540	2,151	2,602	2,466		
一般財源	4,012	4,003	3,728	3,954		
② 人件費(千円)	12,859	人工	10,794	人工	13,144	人工
正規	9,382	1.22	7,459	0.97	9,382	1.22
嘱託	3,477	1.22	3,335	1.17	3,762	1.32
合計コスト①+②	26,210		23,438		26,055	
前年度比	—		89.4%		111.2%	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	成年後見制度利用支援事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	成年後見制度利用支援事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

親族等による法定後見開始審判の請求が期待できない高齢者について、市が申立てを行ない権利擁護を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 対象者  
身寄りのない認知症の高齢者等
- 2 事業内容  
審判申立費用負担(裁判所手数料)  
後見人に対する報酬支払の補助

<現状に対する認識>

・老人福祉法に基づく制度であり、引き続き事業を実施して福祉の増進に寄与する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	成年後見制度利用支援事業利用者数(人)				
指標の設定理由	権利擁護の指標となるため				
目標値	15	18	20	23	25
実績値	14	12	19		
達成度	93.3%	66.7%	95.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	83	60	90	620		
国・県	6	17	13	352		
利用者負担金	73	30	67	10		
その他	2	7	5	140		
一般財源	2	6	4	117		
② 人件費(千円)	105	人工	45	人工	87	人工
正規	77	0.01	31	0.004	62	0.008
嘱託	29	0.01	14	0.005	26	0.009
合計コスト①+②	188	105	177	620		
前年度比	—	55.7%	168.7%	—		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	認知症地域支援推進事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	認知症地域支援推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

国の定める「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」に基づき、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて、本市の認知症施策の具体的な取り組みを行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 松本市認知症施策推進協議会(年3回)
- 2 認知症初期集中支援チーム  
開催回数:12回 新規対象者:8人 訪問対象者:24人(前年度16人含む)  
ケース終了者:21人 訪問回数:210回
- 3 認知症思いやり相談  
開催回数:6回 相談件数19件 相談者数27人
- 4 認知症サポーター養成講座  
開催回数:87回 養成人数:2,316人 延べ人数:22,225人
- 5 認知症カフェ助成事業  
運営助成申請:2か所
- 6 周知・啓発活動
  - (1) 認知症市民啓発講演会(若年性認知症を理解する講演会)  
開催日:2月3日 参加者数:270人
  - (2) 各包括支援センターもの忘れ相談会  
開催回数:151回 相談者数:139人
  - (3) 認知症思いやりパスブック(認知症ケアパス)
  - (4) 思いやりあんしんカルテ  
登録件数85件(累計111件 うち入所等26件) 活用件数4件
- 7 認知症地域支援推進員の育成及び配置(14人)
- 8 各包括キャラバン・メイト交流会(全包括各1回)
- 9 キャラバン・メイト全体研修・交流会開催(8月27日 77人参加)
- 10 キャラバン・メイト養成講座(2月12日 86人参加)

<現状に対する認識>

認知症初期集中支援チームには、独居で、サービス導入が得られにくいケースや身内の協力が得られにくい困難ケース、さまざまな病気が絡みあって認知症の周辺症状を増悪させているケース等が相談として上がるため、必要に応じてチーム医の同行訪問や外部チーム員を多職種に広げ、体制の強化を図りたい。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	認知症サポーター養成講座受講者数(延数 人)				
指標の設定理由	市民の理解の向上と、支え手を増やしていくため				
目標値	18,000	20,000	22,500	25,000	27,500
実績値	16,031	19,909	22,225		
達成度	89.1%	99.5%	98.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	613	1,490	1,387	1,550	
国・県	358	871	801	894	
利用者負担金					
その他	134	327	319	356	
一般財源	121	292	267	300	
② 人件費(千円)	96	人工	94	人工	94
正規	85	0.011	77	0.01	77
嘱託	11	0.004	17	0.006	17
合計コスト①+②	709	1,584	1,481	1,550	
前年度比	—	223.5%	93.5%	—	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	介護予防支援事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	介護保険(サービス事業勘定)
予算中事業名	介護予防支援事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

高齢者が「要介護状態になることを出来る限り防ぐ」「要介護状態になってもそれ以上悪化させないようにする」ために、高齢者自身が地域で自立した日常生活を送れるよう支援する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

要支援1・2及び事業対象者の方が、サービスを利用するために必要な予防プランの作成

- 中央地域包括支援センター  
介護予防ケアプラン作成委託料  
介護予防サービス計画 2,085 件  
介護予防ケアマネジメント 1,445 件

※中央地域包括支援センター業務委託化により、平成30年度でサービス事業勘定を廃止

<現状に対する認識>

・要介護状態になることを出来る限り防ぐため、支援や介護が必要となる可能性が高いと判断される高齢者を早期に発見して、介護予防教室への参加や介護予防ケアプランを立てるなど、要介護状態にならないよう支援する。  
・要介護状態になってもそれ以上悪化させないようにするために、介護予防ケアプランを立て、高齢者自身が自立した日常生活を送れるよう支援する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	介護予防講座等への参加のべ数				
指標の設定理由	予防講座等への参加者を増やし、要介護状態になることを防止するため。				
目標値	35,000	35,000	36,000	36,000	37,000
実績値	34,203	35,676	32,468		
達成度	97.7%	101.9%	90.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	59,348		59,899		60,112		0			
国・県	34,718		35,042		34,714					
利用者負担金										
その他	13,056		13,177		13,826					
一般財源	11,574		11,680		11,572					
② 人件費(千円)	9,263	人工	5,566	人工	5,201	人工		人工		人工
正規	8,151	1.06	4,768	0.62	4,460	0.58				
嘱託	1,112	0.39	798	0.28	741	0.26				
合計コスト①+②	68,611		65,465		65,313		0			
前年度比	—		95.4%		99.8%		—			

# 西部福祉課

課長 田堂 誠

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	0527000
-----	-------	----	-------	-----	---------

事務事業名	梓川老人福祉センター管理事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	梓川老人福祉センター管理運営費

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	市長公約	5つの重点目標
				松本版総合戦略

<事業の狙い>

事業計画年度	～
高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容

(1) 管理運営  
松本市社会福祉協議会に指定管理

(2) 現在の利用状況

ア 貸館関係  
民生・児童委員協議会、高齢者クラブ連合会、梓川ボランティアの会、健康づくりサークル(太極拳、詩吟の会)、子育てサークル

イ 社会福祉協議会関係  
地区社協(給食サービス、子育てサロン等)、梓川居宅会議支援事業所、梓川ヘルパーステーション等

2 活動指標  
貸館関係  
平成29年度 利用者数7,904人  
平成30年度 利用者数8,856人

<現状に対する認識>

子供から高齢者まで幅広い年齢層に利用されている現状から、地域の福祉拠点として効果的に利用できるよう名称を変更  
「梓川老人福祉センター」→「梓川福祉センター」

<指標の達成状況>

	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	利用者数					
指標の設定理由	施設の維持、拡充の指標として					
目標値	4,800	7,000	7,000	7,000	7,000	
実績値	7,089	7,904	8,856			
達成度	147.7%	112.9%	126.5%			
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	4,000	4,961	5,867	11,340	
国・県					
利用者負担金	4	13	5	10	
その他					
一般財源	3,996	4,948	5,862	11,330	
② 人件費(千円)	1,054	1,048	1,050		
正規	769	759	755		
嘱託	285	289	295		
人工	0.1	0.1	0.1		
人工					
人工					
合計コスト①+②	5,054	6,009	6,917	11,340	
前年度比	—	118.9%	115.1%	—	



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	老人憩いの家事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

~ H30

高齢者の心身の健康増進及び福祉の向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容	平成28年度 安曇地区への協議、説明会の開催、事業廃止手続等 平成29年度 解体工事、廃棄物処理 平成30年度 道路復旧工事
2 活動指標	利用者 平成28年度 7,578人

<現状に対する認識>

高齢者の健康増進及び福祉の向上を図る目的で運営してきました安曇老人憩の家「銀山荘」について、施設に利用実態が、本来の機能は少なくなり、むしろ観光目的の利用となっている。また、施設の老朽化、今後使用し続けるには耐震工事が必要なことなどを総合的に判断し、一定の目的を果たしたと考え、施設を廃止することとしました。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者(人)				
指標の設定理由	施設の維持、存続の指標として				
目標値	7,500	事業廃止につき目標値、実績値なし			
実績値	7,578				
達成度	101.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,692		25,391		1,166					
国・県										
利用者負担金										
その他			22,200							
一般財源	9,692		3,191		1,166					
② 人件費(千円)	10,653	人工	9,035	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	9,228	1.2	7,590	1	3,020	0.4				
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5						
合計コスト①+②	20,345		34,426		4,186		0			
前年度比	—		169.2%		12.2%		—			



事務事業評価票

事務事業名	奈川ふれあいの家事業
<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	奈川ふれあいの家事業

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	市長公約	5つの重点目標
				松本版総合戦略

<事業の狙い>	事業計画年度	～
山間地域の高齢者の生きがいと健康増進及び在宅独居が困難な高齢者への居住支援により高齢者福祉の向上を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容
(1) 管理運営 松本市社会福祉協議会に指定管理
(2) 施設の概要 ア 居住施設 一人部屋3室 2人部屋1室 イ 共同作業室、台所、便所
2 活動指標
利用者数
平成29年度 居住施設 0人 共同作業室 428人
平成30年度 居住部分 1人 共同作業室 358人

<現状に対する認識>

近年居住施設利用者が減少しているので、関係機関と有効利用について検討が必要。
--

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	施設の維持、存続の指標として				
目標値	900	700	700	700	700
実績値	696	428	358		
達成度	77.3%	61.1%	51.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	490	554	543	740	
国・県					
利用者負担金			26	230	
その他					
一般財源	490	554	517	510	
② 人件費(千円)	1,054	1,048	1,805		
正規	769	759	1,510		
嘱託	285	289	295		
人工	0.1	0.1	0.2		
人工	0.1	0.1	0.1		
合計コスト①+②	1,544	1,602	2,348	2,563	
前年度比	—	103.8%	146.6%	—	

事務事業評価票

事務事業名	高齢者屋内スポーツ施設(3→2施設)維持管理事業
<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者スポーツ施設事業費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>	事業計画年度	~
高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容	島々、番所、奈川:3カ所の屋内ゲートボール場維持管理 奈川:松本市社会福祉協議会に指定管理委託
2 活動指標	各施設利用者数 平成29年度 島々 1,944人 奈川 604人 計 2,548人  平成30年度 島々 1,968人 奈川 648人 計 2,616人

<現状に対する認識>

1 島々屋内ゲートボール場:地域の住民により経常的に利用されている。
2 奈川屋内スポーツ施設:地域の行事に利用されている。
3 番所屋内ゲートボール場:ゲートボール場としての利用が無いため、在り方を検討した結果、多目的に利用できるよう、近隣のいがやレクリエーションランドに位置付けるため、29年度に山岳観光課に移管

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	施設の維持、拡充の指標として				
目標値	2,252	2,300	2,300	2,300	2,300
実績値	2,335	2,548	2,616		
達成度	103.7%	110.8%	113.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	736	626	684	970	
国・県					
利用者負担金	0	0	0	10	
その他					
一般財源	736	626	684	960	
② 人件費(千円)	1,054	1,048	1,050		
正規	769	759	755		
嘱託	285	289	295		
合計コスト①+②	1,790	1,674	1,734	2,024	
前年度比	—	93.5%	103.6%	116.7%	

**事務事業評価票**

事務事業名	保健センター管理
<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	保健福祉センター管理費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	市長公約	5つの重点目標
				松本版総合戦略

<事業の狙い>	事業計画年度	～
保健と福祉の一体的な活動拠点として市民に対し各種保健及び福祉サービスを総合的に行い、地域住民の健康づくりと福祉の推進を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容
安曇・波田の保健福祉センター及び奈川の保健センターの維持管理
※ 施設内で実施されている各種事業(指定管理を含む)
○ 福祉ひろば(福祉計画課)(安曇、奈川、波田)
○ デイサービスセンター(高齢福祉課)(安曇、波田)
○ 障害者就労支援センター(障害福祉課)(波田)
○ 西部保健センター(健康づくり課)(波田)
○ 地域活動支援センター児・者(シェイクハンズひかり:民間)(波田)
2 活動指標
各センターの利用者数
平成29年度 安曇 7,818人
奈川 1,727人
波田 49,682人
計 59,227人
平成30年度 安曇 7,822人
奈川 1,852人
波田 50,545人
計 60,219人

<現状に対する認識>

地域住民に利用されている施設 施設が老朽化してきており、安心安全に利用を続けるには、計画的な改修が必要となっている。
---

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	施設の維持、拡充の指標として				
目標値	25,150	55,000	55,000	55,000	55,000
実績値	59,462	59,227	60,219		
達成度	236.4%	107.7%	109.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	33,212	38,061	34,949	73,830	
国・県					
利用者負担金	71	72	68	110	
その他	11,428	11,866	11,849	12,620	
一般財源	21,713	26,123	23,032	61,100	
② 人件費(千円)	8,588	人工 8,511	人工 8,500	人工	人工
正規	7,306	0.95 7,211	0.95 7,173	0.95	
嘱託	1,283	0.45 1,301	0.45 1,328	0.45	
合計コスト①+②	41,800	46,572	43,449	73,830	
前年度比	—	111.4%	93.3%	—	

# 保險課

課長 米山 順一

**事務事業評価票**

事務事業名	後期高齢者医療事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞

会計名	後期高齢者医療特別会計
予算中事業名	

＜事業の狙い＞

事業計画年度

20～

75歳以上の後期高齢者等が安心して医療を受けられるよう、後期高齢者医療制度を運営するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業内容
(1) 障害認定に関する申請の受付
(2) 資格の取得・喪失に係る届出の受付
(3) 被保険者証の交付・再交付の申請の受付、引き渡し、返還の受付
(4) 基準収入額適用に係る申請書の受付
(5) 一部負担金減免に係る申請書の受付
(6) 限度額証の交付・再交付・返還の受付
(7) 療養費、高額療養費、高額介護合算療養費の支給申請書の受付
(8) 第三者行為による被害の届出の受付
(9) 葬祭費の支給に係る申請書の提出の受付
(10) 保険料額決定通知書の引き渡し
(11) 保険料の徴収
(12) 保険料の減免・徴収猶予に係る申請の受付
2 活動指標(30年度値、()内は29年度値)
(1) 被保険者数 35,880人(35,078人)
(2) 保険料収納額 2,381,419千円(2,270,744千円)
(3) 保険料収納率(現年度・普通徴収) 98.9%(98.7%)
※赤字は決算数値確定後訂正

＜現状に対する認識＞

1 被保険者数	被保険者数は増加し続けています。
2 保険料	被保険者数の増加に伴い、保険料総額も増加している。収納率は特別徴収は100%であり、普通徴収は98%代で推移している。

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	後期高齢者医療保険料収納率(現年度・普通徴収)				
指標の設定理由	事業の安定運営の目安となるため				
目標値	99.6	99.6	99.6		
実績値	98.5	98.8	98.9		
達成度	98.9%	99.2%	99.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	2,768,428		2,876,616		3,003,177		3,043,680			
国・県					5,283					
利用者負担金	2,182,654		2,270,744		2,381,419		2,426,470			
繰入金	506,176		521,501		533,435		525,570			
その他	79,598		84,371		83,040		91,640			
② 人件費(千円)	25,920	人工	25,660	人工	25,920	人工		人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3	23,070	3				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,850	1				
合計コスト①+②	2,794,348		2,902,276		3,029,097		3,043,680			
前年度比	—		103.9%		104.4%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	0530000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	国民健康保険事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国民健康保険法に基づき、市民が医療を受けられるように、資格管理や給付、保険税の賦課・徴収を行います。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容
(1) 資格の取得・喪失
(2) 被保険者証、高齢受給者証、限度額適用・標準負担額減額認定証等の交付
(3) 保険給付(療養の給付、療養費、出産育児一時金、葬祭費等)
(4) 高額療養費の支給及び貸付
(5) 高額介護合算療養費の支給
(6) 保健事業(データヘルス計画実施、健康フェスティバル等)
(7) 医療費適正化対策事業(レセプト点検、医療費通知等)
(8) 第三者行為求償、不正不当利得徴収
(9) 国民健康保険運営協議会
(10) 国民健康保険税の賦課・徴収
2 活動指標 ( )は前年度(H29)
(1) 国保加入世帯数 31,065世帯(32,135人)
(2) 国保加入者数 49,412人(51,871人)
(3) 保険給付費総額 16,180,508千円(16,461,389千円)
(4) 国保税収納額 5,349,243千円(5,475,916千円)
※赤字は決算数値確定後訂正

<現状に対する認識>

1 一人あたり医療費の増加
国保加入者の高齢化や医療の高度化により、一人あたり医療費が増加しています。
2 保険税収入の確保
保険税の軽減を受ける世帯が半数以上という現状のため、保険給付費に見合う収入の確保が課題です。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	国民健康保険税現年度収納率				
指標の設定理由	事業の安定運営の目安となるため				
目標値	92.00%	92.75%	93.50%	94.25%	95.00%
実績値	91.69%	92.18%	92.93%		
達成度	99.7%	99.4%	99.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	28,730,186		28,748,691		24,112,799		23,278,420			
国・県	7,269,195		6,932,322		16,281,724		16,075,740			
利用者負担金	5,664,426		5,475,916		5,349,243		5,064,990			
繰入金	2,176,214		2,078,761		1,434,513		1,420,780			
その他	13,620,351		14,261,692		1,047,319		716,910			
② 人件費(千円)	322,440	人工	316,590	人工	314,750	人工		人工		人工
正規	276,840	36	273,240	36	269,150	35				
嘱託	45,600	16	43,350	15	45,600	16				
合計コスト①+②	29,052,626		29,065,281		24,427,549		23,278,420			
前年度比	—		100.0%		84.0%		—			



事務事業評価票

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○生活習慣病の予防と重症化予防の支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略			①健康・医療産業の創出・育成

<事業の狙い>

事業計画年度	27～
--------	-----

糖尿病は進行すると様々な合併症を引き起こすとともに、患者の生活全般に大きな影響を及ぼすため、重症化を予防し、患者のQOLを維持するもの  
また、糖尿病性腎症から透析が必要となった場合、1人年間500万円の医療費がかかると言われおり、国保財政の健全化を保つ面からも、医療費の適正化対策として重要です。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容  
2型糖尿病性腎症で治療中の人工透析導入前の国民健康保険被保険者に対し、重症化予防を目的とした保健事業を実施しています。  
患者が通院する医療機関と連携し、薬局薬剤師が指導を行うもので、服薬・栄養・運動指導等の生活習慣や自己管理について6カ月間支援します。

2 状況(実績)  
(1) 協力医療機関  
平成27年度 6施設、平成28年度 6施設、平成29年度 12施設、平成30年度 17施設  
(2) 重症化予防プログラム実施者  
平成27年度 16人、平成28年度 13人、平成29年度 10人、平成30年度 6人

<現状に対する認識>

・協力医療機関が限定されており、糖尿病性腎症のハイリスク者を抽出してもその全てに事業参加を勧奨できる状況ではない。  
・糖尿病や糖尿病性腎症についての認識が低く、事業を勧奨しても、なかなか事業に参加してもらえない。

<指標の達成状況>

	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	糖尿病性腎症の腎症ステージの維持				
指標の設定理由	重篤化への進行を抑制できている状態が確認できるため				
目標値	13	10	6	20	20
実績値	13	10	6		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	服薬率の向上				
指標の設定理由	指導の有効性が確認できるため				
目標値	99%	99%	100%		
実績値	97%	99%	100%		
達成度	98.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	3,675		4,051		3,924		5,310			
国・県	3,675		4,051		3,924		5,310			
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	5,982		6,328		6,231		5,310			
前年度比	—		105.8%		98.5%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	0530000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	後発医薬品利用促進事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	後発医薬品利用推進事業

<事業の狙い>

事業計画年度

25 ~

後発医薬品の利用を促進することで、医療費適正化を図り、国保財政の安定化を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施内容  
後発医薬品がある先発医薬品の利用者で、その差額が一定額以上ある被保険者へ後発医薬品を利用した場合の自己負担額の差額を通知し、後発医薬品選択の情報提供を行うことで医療費の適正化を図っています。  
また、後発医薬品について周知・啓発する広報等を行うことで、後発医薬品の利用を進めています。

2 状況(実績)  
(1) 利用差額通知数  
平成28年度 2,271件、平成29年度 6,780件、平成30年度 4,744件  
(2) 広報まつもと  
平成28年度 1回、平成29年度 1回、平成30年度 1回

<現状に対する認識>

平成29年度から通知対象とする利用差額を引下げ(300円以上→100円以上)るとともに、対象となる医薬品分類を拡大(11分類→13分類)し、通知対象を拡充し、後発医薬品の更なる利用推進を図っています。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	効果額実績				
指標の設定理由	後発医薬品への切り替えによる医療費の削減効果額のため				
目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
実績値	3,220	3,717	8,743		
達成度	80.5%	92.9%	218.6%		
② 成果指標(指標名)	後発医薬品の数量シェア				
指標の設定理由	後発医薬品の数量シェアは国が目標値を定めているため				
目標値	80	80	80	80	80
実績値	63.3	67.6	72.4		
達成度	79.1%	84.5%	90.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	247		788		566		630			
国・県	247		788		566		630			
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	85.5	人工	86.7	人工	85.5	人工		人工		人工
正規										
嘱託	85.5	0.03	86.7	0.03	85.5	0.03				
合計コスト①+②	333		875		652		630			
前年度比	—		263.1%		74.5%		—			

医務課

課長 石井 敬一

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	島々診療所事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	島々診療所事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安曇島々地区住民等に対し、地域医療(歯科)を提供するため、診療所を運営する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科・歯科
- 診療日数 内科 98日、歯科 98日
- 診療日 内科 火曜日(9:00～12:00)、木曜日(時間 9:00～15:30)  
歯科 月・木曜日(9:00～16:00)
- 職員体制 内科 医師 1名、看護師 1名、事務 2名  
歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

<現状に対する認識>

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	1,751	1,854	1,605		
達成度					
② 成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	324	357	363		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	23,319		25,824		2,459		0			
国・県										
利用者負担金	23,319		25,824		2,459					
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	1,339	人工	1,337	人工	1,339	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託	570	0.2	578	0.2	570	0.2				
合計コスト①+②	24,658		27,161		3,798		0			
前年度比	—		110.2%		14.0%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	奈川診療所事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(直診勘定)
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

奈川地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、奈川区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科・歯科
- 診療日数 内科・外科 202日、 歯科 144日
- 診療日 内科・外科 月・火・木・金曜日(8:30～17:15)  
歯科 月・火・木曜日(9:00～16:30)
- 職員体制 内科 医師 1名、市立病院医師 1名(第2水) 看護師 1名、事務 1名  
歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

<現状に対する認識>

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	3,992	3,924	3,829		
達成度					
② 成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	619	674	734		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	65,675		61,574		61,469		0			
国・県	11,411		11,537		11,474					
利用者負担金	39,851		39,420		38,501					
その他	152		111		180					
一般財源	14,261		10,506		11,314					
② 人件費(千円)	2,108	人工	2,096	人工	2,108	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538	0.2				
嘱託	570	0.2	578	0.2	570	0.2				
合計コスト①+②	67,783		63,670		63,577		0			
前年度比	—		93.9%		99.9%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	いい医療の日事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	いい医療の日事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民と医療従事者が信頼関係を築く事業を実施し、医療を取り巻く環境の向上を図るとともに、イベントを開催し、地域医療について考える機会とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

11月の第2土曜日を「いい医療の日」として定め、より良い医療環境をめざして事業を実施する。

1 講演会、パネルディスカッションの開催

地域振興財団と共催し、地域包括ケア、地域医療、在宅医療をテーマに講演会とパネルディスカッションを開催(11月17日(土))

(1) 基調講演 講師 小松裕和氏  
(佐久総合病院 地域医療部副部長/地域ケア科医長)

(2) パネルディスカッション

コーディネーター 松本市医師会長  
パネリスト 松本市立病院長、会田病院長、奈川診療所長  
安曇地区診療所長、講演会講師

(3) 参加者 120名

2 ありがとうメッセージの募集

当日資料に「ありがとうメッセージ」を掲載

<現状に対する認識>

平成28年度までは、市民と医療従事者が「ありがとう」の気持ちを伝えあう意見発表の場としていたが、手法を変え、29年度から講演会、パネルディスカッションを開催し、広く市民や関係者の呼びかけ、地域医療や在宅医療について考える機会とした。

今後も、講演会やパネルディスカッションを開催したいが、イベントの手法や構成を考え、また多くの方が出席できるよう周知することが必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	イベント参加者数				
指標の設定理由	参加者人数によりどのくらい周知できているか把握できるため				
目標値		200	200	200	
実績値		120	120		
達成度		60.0%	60.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	447		314		365		0			
国・県										
利用者負担金	0		0							
その他			269		273					
一般財源	447		45		92					
② 人件費(千円)	670	人工	669	人工	670	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	385	0.05				
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1				
合計コスト①+②	1,117		983		1,035		0			
前年度比	—		88.0%		105.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	小児救急講座事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

乳幼児、小児等の初期医療の啓発、二次救急病院の負担軽減のため、子育て世帯を対象に医師、薬剤師等により学習会を開催するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 小児科医出前講座  
松本市医師会の小児科医が講師を務め、市内の保育園等を会場にこどもの初期医療に関して、周知啓発を図るもの  
30年度は保育園等、6会場で実施
- 看護師による出前講座  
夜間急病センターの看護師が講師を務め、こどもが急病になったときの対応など具体例に基づき、日常的な乳幼児の初期医療について、周知啓発を図るもの  
30年度は、児童館など5会場で開催
- 子育て支援講座  
夜間急病センターのスタッフ(小児科医師、薬剤師、看護師)、管理栄養士や救急救命士が講師となり、こどもが急病になったとき、けがをした時などの対応について講座を開催するもの  
30年度は3回連続の講座を開催

<現状に対する認識>

講座を通じて、子育て世代の子育ての対する不安の解消や小児の初期医療の周知啓発に一役買っていると思う。しかし、講座回数が減ってきているため、講座の開催周知を工夫していくことが必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年	令和2年
① 成果指標(指標名)	講座開催回数				
指標の設定理由	出前講座等の回数によりどのくらい初期医療の周知できているか把握できるため				
目標値	17	17	17	17	17
実績値	17	12	14		
達成度	100.0%	70.6%	82.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年		令和2年	
① 事業費(千円)	151		145		128		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	151		145		126					
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	920		904		897		0			
前年度比	—		98.3%		99.2%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	初期救急医療事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

必要な時に必要な医療が安心して受けられることができる初期救急医療体制を整備するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

初期救急医療体制を整備するため、平日(夜間)・休日(昼夜間)に在宅当番医制業務を松本市医師会へ委託等するもの  
1年365日、切れ間なく初期救急として在宅当番医体制をとっている。  
平日夜間(290日)、休日昼夜間(75日)、土曜午後(49日)

<現状に対する認識>

いつでも、誰もが、必要な時に、安心して医療を受けられる環境を今後も整備するため、事業の継続は必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	初期救急件数(年間)				
指標の設定理由	必要な時に医療を受けられる体制が整えられているかを直接的に把握できる				
目標値					
実績値	18,939	19,380	19,939		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	14,853		14,852		14,852					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	14,853		14,852		14,852					
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	15,622		15,611		15,621		0			
前年度比	—		99.9%		100.1%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	災害医療事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	緊急救急医療等推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

大規模地震等の災害発生時に、防災・保健・医療・福祉に関する諸団体が効率的に連携を図り、迅速・円滑な医療救護活動を実施するための体制の整備を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

災害時の医療救護活動を円滑の行うため、活動に必要な医薬品等の整備を行うとともに、松本市総合防災訓練の一環として、関係団体が連携し、医療救護訓練を行うもの

- 1 総合防災訓練会場内に臨時医療救護所を2カ所設置し、地域住民参加による実践的な訓練を実施
- 2 トリアージを中心とする急性期の訓練に加え、亜急性期を想定した災害弱者対策訓練の実施
- 3 建築士会による建物の安全・利用確認を実施し、余震等による2次被害を防止する訓練を実施

<現状に対する認識>

災害時に医療救護所が迅速に設置され、円滑な運営ができるよう、関係団体が連携し訓練を重ねることは重要なことであるので、事業の継続は必要である。訓練を通じて、検証を重ね、次の訓練に活かしていくことが必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	訓練回数				
指標の設定理由					
目標値	1	1	1	1	
実績値	1	1	1		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	567		127		69		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	567		127		69					
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,076	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,076	0.4				
嘱託										
合計コスト①+②	3,643		3,163		3,145		0			
前年度比	—		86.8%		99.4%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			①健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本地域出産・子育て安心ネットワーク事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安心・安全に出産ができる産科医療体制を確保するため、松本保健福祉事務所、松本医療圏構成市村、医療団体及び医療機関が連携して、「松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会」を設立し、分娩従事医師の負担軽減を図る等の事業を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

分娩従事医師の負担軽減と離職防止のため、松本保健医療圏域市村等で協議会を運営しているもの(負担金等)

- 1 分娩医療機関と健診協力医療機関の役割分担と連携体制の構築
- 2 両医療機関で利用する共通診療ノートの作成及び配布
- 3 連携強化病院従事医師への研究奨励金の支給
- 4 地域住民への広報活動(公開講座の開催)

<現状に対する認識>

医療機関の役割分担の推進により、妊娠初期に分娩医療機関を利用する妊婦は減少し、分娩医療機関の医師等の負担軽減が図られており、今後も安心して出産・子育てができる医療体制を維持するため、事業の継続は必要と考える。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,041		5,970		5,886		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,041		5,970		5,886					
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,538	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	7,579		7,488		7,424		0			
前年度比	—		98.8%		99.1%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	夜間急病センター事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	122	緊急医療・周産期医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	夜間急病センター事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

初期救急医療体制の整備、二次救急の負担軽減し、本来の二次救急医療に専念できる体制の整備と子育て支援の充実を図るため、小児科・内科夜間急病センターを運営するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市民が安心して安全に医療を受けることができるよう、平成17年4月1日設置されて以来、松本市医師会をはじめとする関係機関の連携し、運営をしている。

- 1 診療科 小児科・内科
- 2 診療日 年中無休(365日)
- 3 診療時間 19:00～23:00
- 4 職員体制 医師 2名(小児科・内科)、薬剤師 1名、看護師 2名  
医療事務 2名、事務 1名

<現状に対する認識>

今後も、運営上の課題の検討と、利用者の声を運営に反映させながら、初期救急医療機関として、市民の安心と安全を図っていきたい。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	夜間に安心して医療を受ける体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	9,390	9,187	9,121		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	106,393		106,685		105,010		0			
国・県	2,407		2,315		2,227					
利用者負担金	79,486		79,174		77,099					
その他	4,740		3,857		3,390					
一般財源	19,760		21,339		22,294					
② 人件費(千円)	4,415	人工	4,373	人工	4,415	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,845	0.5				
嘱託	570	0.2	578	0.2	570	0.2				
合計コスト①+②	110,808		111,058		109,425		0			
前年度比	—		100.2%		98.5%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	錦部歯科診療所事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	錦部歯科診療所事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

四賀地区住民等に対し、地域医療(歯科)を提供するため、歯科診療所を運営する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、四賀地区において歯科診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 1 診療科 歯科
- 2 診療日数 98日
- 3 診療日 火・金曜日(9:30~17:00)
- 4 職員体制 医師 1名、歯科助手 2名

<現状に対する認識>

施設、医療機器の老朽化や受診者の減少に伴い、診療所の用途廃止について、地元町会へ打診し、了解を得たことから、平成32年3月31日を目途にて診療所を廃止するもの。

また、地区内や隣接する地区に複数民間の歯科医院があるため、現在受診している受診者には、次の主治医につなぐまで丁寧に説明するものとする。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	779	708	545		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,537		7,945		7,315		0			
国・県										
利用者負担金	5,368		4,489		3,471					
その他										
一般財源	4,169		3,456		3,844					
② 人件費(千円)	670	人工	820	人工	900.2	人工		人工		人工
正規	385	0.05	531	0.07	615.2	0.08				
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1				
合計コスト①+②	10,207		8,765		8,215		0			
前年度比	—		85.9%		93.7%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	大野川診療所事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	大野川診療所事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安曇大野川地区住民等に対し、地域医療(医科、歯科)を提供するため、診療所を運営する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科・歯科
- 診療日数 内科 136日、歯科 141日
- 診療日 内科 月曜日(13:30～15:30)、水・金曜日(時間 9:00～11:00)  
歯科 月・金曜日(9:00～16:30)、水曜日(時間 9:00～12:00)
- 職員体制 内科 医師 1名、看護師 1名、事務 1名  
歯科 医師 1名、歯科衛生士(歯科助手) 1名

<現状に対する認識>

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間受診者数(内科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	1,558	1,601	1,485		
達成度					
② 成果指標(指標名)	年間受診者数(歯科)				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	646	1,116	1,371		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	20,313		22,526		23,755		0			
国・県	3,593		3,366		3,310					
利用者負担金	16,720		19,160		20,445					
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	1,823	人工	1,807	人工	1,823	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538	0.2				
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1				
合計コスト①+②	22,136		24,333		25,578		0			
前年度比	—		109.9%		105.1%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	沢渡診療所事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	沢渡診療所事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安曇沢渡地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科
- 診療日数 48日
- 診療日 水曜日(14:00～15:30)
- 職員体制 医師 1名、看護師 1名、事務 1名

<現状に対する認識>

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	290	233	213		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,299		2,616		1,842		0			
国・県										
利用者負担金	3,299		2,616		1,842					
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	527	人工	524	人工	527	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	385	0.05				
嘱託	143	0.05	145	0.05	143	0.05				
合計コスト①+②	3,826		3,140		2,369		0			
前年度比	—		82.1%		75.4%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	医務課	課CD	05320000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	稲核診療所事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	いつでも医療が受けられるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	稲核診療所事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安曇稲核地区住民等に対し、地域医療(医科)を提供するため、診療所を運営する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制を確保するため、安曇地区において診療所を運営し、地区住民の健康管理及び地域医療を行うもの

- 診療科 内科
- 診療日数 89日
- 診療日 月曜日(9:00～11:00)、金曜日(時間 14:00～15:30)
- 職員体制 医師 1名、看護師 1名、事務 1名

<現状に対する認識>

今後も、引き続き、地区住民が安心して安全に医療を受けることができる地域医療体制の充実を図っていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間受診者数				
指標の設定理由	安心して医療が受けられる体制が整えられているか直接的に把握できる				
目標値					
実績値	492	443	354		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,454		3,859		3,131		0			
国・県										
利用者負担金	5,454		3,859		3,131					
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	527	人工	524	人工	527	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	384.5	0.05				
嘱託	143	0.05	145	0.05	142.5	0.05				
合計コスト①+②	5,981		4,383		3,658		0			
前年度比	—		73.3%		83.5%		—			

# 健康づくり課

課長 塚田 雅宏



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	後期高齢者医療事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	後期高齢者医療事業

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査(法定)と同等の検査を実施し、糖尿病等の生活習慣病を早期に発見して治療に結びつけ、高齢者の生活の質を向上させるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 後期高齢者健康診査事業  
 法定の必須16項目の検査に加えて、市独自追加項目として、心疾患・痛風等の早期発見のために心電図・尿酸・空腹時血糖と慢性腎不全・貧血等の早期発見のためにクレアチニン・貧血検査を実施。  
 ・平成30年度受診者数 15,781人(44.9%)

2 後期高齢者医療人間ドック等助成事業  
 被保険者が、生活習慣病の早期発見及び早期治療により健康保持を図るため、人間ドック受診に要する費用に対し補助金を交付するもの。

(1)助成内容  
 ・人間ドック(日帰り) 15,000円  
 ・人間ドック(1泊2日) 20,000円  
 ・脳ドック 15,000円  
 ・簡易脳ドック 10,000円

(2)平成30年度実績  
 879人

後期高齢者健康診査の受診目標率は設定していませんが、受診率は微増傾向にあり、メタボリックシンドロームの早期発見と生活習慣病を改善する観点から一定の成果が得られている。

<指標の達成状況>

総合評価	
------	--

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	152,970	163,110	163,670	162,160	
国・県	122,190	125,440	131,410	130,170	
利用者負担金					
その他					
一般財源	30,780	37,670	32,260	31,990	
② 人件費(千円)	0	人工 3,469	人工 3,436	人工	人工
正規	0	2,429	0.32	2,492	0.33
嘱託	0	1,040	0.36	944	0.32
合計コスト①+②	152,970	166,579	167,106	162,160	
前年度比	—	108.9%	100.3%	—	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	特定健康診査等事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	特定健康診査等事業

<事業の狙い>

事業計画年度 H30 ~ H35

平成20年度から医療保険者に義務付けられたメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査と、その結果により階層化して指導を行う特定保健指導により、メタボリックシンドロームを早期に発見し生活習慣病の改善を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 特定健康診査の実施  
 法定の必須16項目に加えて、市独自追加項目として心疾患・痛風等の早期発見のために心電図・尿酸、空腹時血糖と、慢性腎不全・貧血等の早期発見のためにクレアチニン検査・貧血検査を実施。  
 ・平成29年度特定健康診査受診者数 16,055人(受診率45.1%)
- 特定保健指導の実施  
 特定健康診査の結果から、生活習慣の発症リスクが高い方に対して医師や保健師、管理栄養士等が対象者一人ひとりの身体状況に合わせて生活習慣を見直すためのサポートを実施。  
 ・平成29年度特定保健指導実施修了者数 682人(終了率41.4%)
- 人間ドック助成事業  
 (1) 助成内容  
 ・人間ドック(日帰り) 15,000円 ・人間ドック(1泊2日) 20,000円  
 ・脳ドック 15,000円 ・簡易脳ドック 10,000円  
 (2) 平成30年度実績 3,224人

特定健康診査の経年受診率は微増している状況である。未受診の理由として”定期的に医療機関を受診している”が多くを占めているため、平成30年度は医療機関との連携のもと、特定健診と同等の検査をしている場合データの受領に取り組んだ。今後も、被保険者に健診の必要性を啓発していくと共に、医療機関との連携を密にして受診者数増に向けて取り組み生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組む。同じく、特定保健指導の終了率向上に取り組む。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	特定健康診査受診率				
指標の設定理由	第二期松本市国民健康保険特定健康診査等実施計画の目標値(%)				
目標値	57.0%	60.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	44.8%	45.1%	H31.10以降確定		
達成度	78.6%	75.2%	-		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	147,870	196,480	223,180	229,620	
国・県	72,460	85,720	81,800	79,390	
利用者負担金					
その他					
一般財源	75,410	110,760	141,380	150,230	
② 人件費(千円)	0	人工 22,689	人工 24,224	人工	人工
正規	0	19,279	2.54 20,536	2.72	
嘱託	0	3,410	1.18 3,688	1.25	
合計コスト①+②	147,870	219,169	247,404	229,620	
前年度比	-	148.2%	112.9%	-	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	保健センター管理
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	保健センター管理

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の健康相談や各種検診等様々な保健サービスの提供の場、また住民の自主参加による保健活動の場として広く活用し、総合的な健康づくりの拠点となる保健センターを適切に維持管理するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 所管施設・年間利用者数(平成30年度)
  - 南部保健センター 21,991人
  - 北部保健センター 10,869人
  - 中央保健センター 11,560人
  - 西部保健センター 9,802人
- その他所管施設
  - 四賀保健センター(健康づくり課)
  - 梓川保健センター(梓川支所)
  - 四賀保健福祉センター(四賀支所) ※( )は維持管理課
- 主な修繕等
  - 中央保健センター空調機フィルター交換 136,080円
  - 中央保健センター電話設備更新工事 550,800円
  - 四賀保健センター自火報設備リニューアル工事 471,960円
  - 公用車両の購入(北部保健センター・南部保健センター)2台 1,845,640円
  - 北部保健センター両眼開放オートレフケラトメーター※ 1台 1,123,200円  
※故障により購入したもの

保健センター事業の周知により、利用者の拡大を図るとともに、利用しやすい運営を図る。維持管理の面では、空調設備の更新が急務である保健センターもあり、サービス維持のため優先的に対応が必要と考える。当初設置時と保健センターの利用形態等が変わっているため、保健センターのあり方について検討が必要な施設もある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,672		6,384		10,429		4,760			
国・県										
利用者負担金	136		614		339		140			
その他										
一般財源	5,536		5,770		10,090		4,620			
② 人件費(千円)	6,844	人工	10,517	人工	7,599	人工		人工		人工
正規	6,844	0.89	10,171	1.34	7,097	0.94				
嘱託	0		347	0.12	502	0.17				
合計コスト①+②	12,516		16,901		18,028		4,760			
前年度比	—		135.0%		106.7%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	「健康寿命延伸都市・松本」推進事業
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			①健康・医療産業の創出・育成

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	「健康寿命延伸都市・松本」推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

「健康寿命延伸都市・松本」の創造を推進するため、この取組みを内外に情報発信するとともに、健康寿命延伸に取り組む他都市や企業等との連携・強化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 世界健康首都会議の開催
  - 参加者 2日間延べ1,700名
  - 海外基調講演 2講演(デンマーク工科大学・イギリス政府)
  - 各種セミナー等の開催、企業ブース出展
- 健康寿命延伸都市協議会の運営・拡充
  - 第5回総会・研修会の開催
    - 岡山市で10月に開催  
(平成30年度から構成自治体が輪番により1年間、事務局を務める。)
    - 13自治体、厚生労働省が参加
  - 協議会への加入要請  
「健康寿命をのばそう!アワード」受賞○自治体へ要請、○自治体加入
- 企業との連携による情報発信等
  - がん対策推進企業アクション講演会の開催(がん検診啓発)約1,100人
  - ローソン、月刊イクジィとの連携による健康情報の発信

市の健康寿命延伸の施策について、市民に十分に周知していくとともに、取組みを国内外へ更に広げるため、「健康寿命延伸」のリーディング都市としての矜持をもって引き続き「スマートライフプロジェクト」に積極的に関与し、関連施策を進める。今後も「健康寿命をのばそう!アワード」受賞自治体で構成する健康寿命延伸都市協議会へ積極的に参加し、情報発信・連携を図っていく。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	健康寿命延伸都市協議会構成団体数				
指標の設定理由	協議会の拡充の成果が確認できるため				
目標値	26	29	32	35	38
実績値	23	24	23		
達成度	88.5%	82.8%	71.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,802		4,325		4,390		4,240			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,802		4,325		4,390		4,240			
② 人件費(千円)	5,998	人工	5,277	人工	4,212	人工		人工		人工
正規	5,998	0.78	5,161	0.68	4,153	0.55				
嘱託	0		116	0.04	59	0.02				
合計コスト①+②	11,800		9,602		8,602		4,240			
前年度比	—		81.4%		89.6%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	補助金(健康づくり課)
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金(健康づくり課)

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市の検診を行う医師会医療センターの、老朽化が進んだ医療機器をデジタル対応機器に更新することにより、更なる精度向上やがん検診の受診率向上に活用する。  
また、各種がん検診の実施方法や検査結果をまとめることにより、確実に適切な検診体制につなげる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 医療機器等更新事業(交付先:松本市医師会)	6,609,600円
(1) 2年均等分割分(31年度で終了)	6,609,600円
デジタルマンモグラフィ装置	
2 がん検診評価事業補助金	531,390円
過去に市が行った各種がん検診について、年度ごとに検診の実施方法、受診率、要精検率、精検結果等を報告書にまとめ、今後のがん検診に役立てるもの	
大腸がん検診	28年度 109,215円
前立腺がん検診	28年度 58,277円
乳がん検診	28年度 68,734円
胃がんリスク検診	28年度 125,064円
肺がん・結核検診	26・27年度 77,328円
肺がんCT検診	26・27年度 92,772円

導入計画に基づく機器の更新により、早期発見、早期治療の一端を担い、市民の健康寿命延伸を進める。  
がん検診評価事業を定期的に行い、今後のがん検診に役立てる。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	15,491	11,263	7,140	7,090	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	15,491	11,263	7,140	7,090	
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	378
正規	0	0	378	0.05	
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	15,491	11,263	7,518	7,475	
前年度比	—	72.7%	66.7%	—	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	エイズ・性感染症予防事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	エイズ・性感染症予防事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

医療関係者や関係団体からなる「松本市エイズ・HIV等性感染症予防啓発推進協議会」を中心に、性感染症の知識の普及啓発及び予防活動を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- エイズ・HIV等性感染症に関する出前講座  
小中学生や地域住民を対象に出前講座を開催(H30 103回 8,715人受講)
- 協議会の専門部会による課題の検討  
子ども教育部会における若者の性に関する意識調査の検討(H30 2回)  
施設受け入れ部会における高齢者施設職員向け講演会の実施(H30 1回)
- エイズ・HIV等感染症に関する周知  
エイズ・HIV等感染症予防啓発街頭キャンペーン  
健康フェスティバルにおける啓発活動

子ども教育部会では、アンケート調査等とおして若者の性に関する状況把握を行い、現代の若者の抱える課題に対応できるように出前講座の内容を検討する。  
施設受け入れ部会では、高齢者施設職員がエイズ・HIV等の性感染症について引き続き理解を深められるように、講演会を継続的に開催していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	出前講座受講者数				
指標の設定理由	出前講座による性感染症予防の普及率を把握することができるため				
目標値	9,000	9,050	9,100	9,150	9,200
実績値	8,993	9,194	8,715		
達成度	99.9%	101.6%	95.8%		
② 成果指標(指標名)	エイズHIV等性感染症予防啓発講演会実施数				
指標の設定理由	協議会の専門部会の実績を把握するため				
目標値	2	3	3	3	3
実績値	2	3	1		
達成度	100.0%	100.0%	33.3%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	976		972		1,140		1,080			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	976		972		1,140		1,080			
② 人件費(千円)	3,950	人工	4,995	人工	2,098	人工		人工		人工
正規	3,922	0.51	4,099	0.54	2,039	0.27				
嘱託	29	0.01	896	0.31	59	0.02				
合計コスト①+②	4,926		5,967		3,238		1,080			
前年度比	—		121.1%		54.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	健康増進対策①
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	健康増進対策事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

健康づくり・疾病予防のため、第2期松本市健康づくり計画に基づいて各種検診及び事業を実施するもの  
また、市有施設へのAED配備と応急手当講習会による普及啓発により、心臓突然死の減少につなげ、市民が安心して過ごせる環境をつくるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 健康増進検診の実施(受診者数)
(1) 健康保険未加入者健診 416人
(2) 肝炎ウイルス検診 3,587人
(3) 骨粗しょう症検診 4,239人
(4) 緑内障検診 939人
(5) 胃がんリスク検診 2,037人
2 検診の周知啓発
肝炎予防デー、骨粗しょう症デー、緑内障週間等の機会を捉え広く周知啓発を行う。
(1) 広報掲載
(2) 骨粗しょう症デーに合わせたイベント啓発
(3) 受診券の見直し(見やすく、分かりやすく)
3 AED設置事業
(1) AEDの新規配備 5台 更新配備 15台(総数164台。本体は8年で更新。)
(2) AEDの消耗品交換 パッドは2年、バッテリーは4年で交換。
(3) 職員向け普通救命講習会の開催 1回・受講者18人

世界肝炎デーや緑内障週間、骨粗しょう症デーなどの機会を捉えて有効な周知啓発が実施できた。  
また、市有施設のAEDを適正に管理するとともに、民間施設も含めたAEDの設置場所の周知や、心配蘇生法を含めた救命講習の普及啓発を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	胃がんリスク検診精密検査受診率				
指標の設定理由	胃がん発症リスクの低減を図るための指標となるため				
目標値		82.0%	84.0%	86.0%	88.0%
実績値	71.8%	79.4%	R2年5月以降確定		
達成度	#DIV/0!	96.8%	-		
② 成果指標(指標名)	普通救命講習会受講者数(人)				
指標の設定理由	講習会の受講促進が確認できるため				
目標値		5,800	5,850	5,900	5,950
実績値	5,778	8,222	8,637		
達成度	#DIV/0!	141.8%	147.6%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	44,375		47,107		47,289		41,880			
国・県	22,561		19,274		20,970		20,080			
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,814		27,833		26,319		21,800			
② 人件費(千円)	27,919	人工	15,118	人工	9,785	人工		人工		人工
正規	25,838	3.36	14,193	1.87	9,136	1.21				
嘱託	2,081	0.73	925	0.32	649	0.22				
合計コスト①+②	72,294		62,225		57,074		41,880			
前年度比	-		86.1%		91.7%		-			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	健康増進対策②(歯科検診)
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	健康増進対策事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

生涯にわたる口腔ケアの意識づけや歯周疾患の予防をはかるため、第2期松本市健康づくり計画に基づいて、歯科検診および健康教育事業を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 健康増進事業(受診者数)
(1) 歯周疾患検診(30・40・50・60・70歳) 1,162人
(2) 妊婦歯科検診 660人
(3) はたちのパノラマ健診(20歳) 173人
2 歯科健康教育
歯科衛生士が、歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上に関する適切な情報を提供する。
<実施人数> 1,489人

・歯科検診受診率を上げるため、特に若い世代への働きかけとして、30・40・50歳の年度中途の歯周疾患検診未受診者へ、再勧奨を実施したところ、前年度同時期と比較すると受診者が増えた。来年度以降も再勧奨を実施し、効果を検証していく。  
 ・30年度に歯科検診受診啓発の資料を作成したので、歯科衛生士以外の職員でも周知してもらおう、課内で周知をはかっていく。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歯周疾患検診受診率(%)				
指標の設定理由	市から働きかけた検診の受診状況が把握できるため				
目標値	6.0	10.0	10.0	12.0	13.0
実績値	6.6	6.4	7.4		
達成度	110.0%	64.0%	74.0%		
② 成果指標(指標名)	歯科健康教育受講者数(人)				
指標の設定理由	歯科疾患予防等を働きかけた人数が把握できるため				
目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
実績値	1,134	1,270	1,489		
達成度	103.1%	115.5%	135.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,428		6,431		7,626		9,210			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,428		6,431		7,626		9,210			
② 人件費(千円)	7,198	人工	5,815	人工	8,088	人工		人工		人工
正規	5,460	0.71	4,023	0.53	5,285	0.7				
嘱託	1,739	0.61	1,792	0.62	2,803	0.95				
合計コスト①+②	15,626		12,246		15,714		9,210			
前年度比	—		78.4%		128.3%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	グッドヘルス推進事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	グッドヘルス推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○生活習慣病の予防と重症化予防の支援	
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
	松本版総合戦略 ①健康・医療産業の創出・育成		

<事業の狙い>

事業計画年度

～

生活習慣病予防のポピュレーションアプローチとして、働き盛り世代(概ね20歳～59歳まで)へ基礎知識の普及を行うことにより、対象者が行動変容をおこし、将来的に医療費削減、健康寿命延伸につながることを目的とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 働く世代生活習慣病予防事業
  - 企業からの申込を受け、生活習慣病予防の観点からメタボリックシンドローム、食行動、運動、こころの健康、たばこ、歯の健康などについての出前講座を実施する。
  - 商工会議所「ヘルスの日」の待ち時間に前講座を実施する。
- 健康相談事業、訪問指導
  - 希望者を対象として、各保健センター、支所・出張所等で、保健師や歯科衛生士等が面接及び電話による相談を行う。
  - 検診の要指導者や妊産婦・乳児で支援が必要な者、その他在宅療養者で相談及び支援が必要と認められる者を保健師、看護師等が訪問し、生活習慣病の重点対策疾患の予防、介護予防及び保健・医療・福祉サービスの調整を図る。
- 職員研修
 

職員の専門性を高めるため各種研修会を計画・実施・参加
- 「健康福祉21市民会議」健康・母子専門員会
 

健康づくり計画の策定、施策の検討及び助言

働く世代の生活習慣病予防事業では、29年度、建設業界へのアプローチを行った。その結果30年度は建設関係の事業所が増え参加人数が増加した。この事業は、広く一般無関心層へのアプローチの大切な機会であることから、今後も周知、継続していく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	商工会議所健康診断・職場で健康講座 実施回数				
指標の設定理由	働き盛り世代への基礎知識普及の頻度				
目標値	90	90	90		
実績値	69	66	82		
達成度	76.7%	73.3%	91.1%		
② 成果指標(指標名)	商工会議所健康診断・職場で健康講座 講座受講人数				
指標の設定理由	健康講座への参加人数を基礎知識普及の人数とする。				
目標値	2,000	2,000	2,000		
実績値	1,813	1,615	2,462		
達成度	90.7%	80.8%	123.1%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,332		3,807		4,360		4,300			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,332		3,807		4,360		4,300			
② 人件費(千円)	59,244	人工	63,002	人工	70,768	人工		人工		人工
正規	42,372	5.51	44,477	5.86	55,870	7.4				
嘱託	16,872	5.92	18,525	6.41	14,898	5.05				
合計コスト①+②	64,576		66,809		75,128		4,300			
前年度比	—		103.5%		112.5%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	環境保健サーベイランス事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保健サーベイランス事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地域集団の健康状態と環境汚染に関する観察を行い、必要な措置を講ずるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 国からの委託事業
- 2 地域集団の健康状態と環境汚染に関する観察を実施し、国へ報告する。  
(3歳児 2,014人 6歳児 2,048人)

環境省からの委託調査事業である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,948		1,695		1,720		1,730			
国・県	2,948		1,695		1,720		1,730			
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	2,230	人工	3,256	人工	3,168	人工	3,219	人工		人工
正規	2,230	0.29	3,112	0.41	3,020	0.4	3,076	0.4		
嘱託	0		145	0.05	148	0.05	143	0.05		
合計コスト①+②	5,178		4,951		4,888		4,949			
前年度比	—		95.6%		98.7%		—			

**事務事業評価票**

事務事業名	健康づくり体制推進事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	健康づくり体制推進事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します	
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み	〇地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成		

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

市内全地区に健康づくり推進員を配置し、関係機関との連携及び保健福祉事業が地域全般にいきわたるよう学習し実践すること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 健康づくり推進員の活動(862名)
  - 自らの健康のために進んで研修会等に参加し、実践(予防)する。  
連合会総会1回 役員会8回 理事会8回 研修会2回 理事視察研修健康づくり教室5回 他
  - 地域保健福祉活動の向上と健康づくりの推進のために、地域ごとの研修会や健康に関する教室を開催する。
  - 市の保健福祉行政がスムーズに地域全般にゆきわたるため努力する。
  - 地区の健康を守る担い手として、地域住民からの健康づくりに関する意見を行政に反映するとともに、支援を必要とする方を地区担当保健師や行政に連絡する。
- 各地区事業  
地区担当保健師が各地区の事務局として、推進員と共に地区の健康課題等に取り組んでいる。  
(地区総会、定例会、学習会、福祉事業等への参加協力、各種検診助奨他)
- 地区活動への後方支援  
地区での活動を効率よく効果的に進めるため、推進員育成マニュアルや活動事例集の作成、他地区の好事例紹介等を通じ、地区活動の後方支援を行う。

地区組織や行政と連携して、保健福祉活動の啓発及び健康づくりの役割を果たしている。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	健康づくり推進員経験者数					
指標の設定理由	経験者を増やすことで、地域での健康づくり活動普及につながるため					
目標値	17,000	17,800	17,800	18,600	18,600	
実績値	16,734	17,626	17,668			
達成度	98.4%	99.0%	99.3%			
② 成果指標(指標名)	任期2年間を通じた意識・行動変容の有無					
指標の設定理由	健康意識の高い市民の増加につながるため					
目標値	100	100	100	100	100	
実績値	94.5	93.0	93.0			
達成度	94.5%	93.0%	93.0%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	13,312	13,300	13,460	13,170		
国・県	610	610	610	610		
利用者負担金						
その他						
一般財源	12,702	12,690	12,850	12,560		
② 人件費(千円)	29,670	30,976	35,586			
正規	24,454	3.18	26,034	3.43	30,276	4.01
嘱託	5,216	1.83	4,942	1.71	5,310	1.8
合計コスト①+②	42,982	44,276	49,046	13,170		
前年度比	—	103.0%	110.8%	—		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	まちかど健康相談
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まちかど健康相談事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援	
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
	松本版総合戦略 ①健康・医療産業の創出・育成		

<事業の狙い>

事業計画年度

28年度～32年度

市民が自分自身の健康に関心を持ち、若い頃からの健康づくりに取り組むきっかけづくり及び健(検)診の受診率向上につながることを目的に、市民が多く参加するイベントなどで、生活習慣病及び認知症等の予防啓発や相談を気軽にできる機会を設ける。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 連携をしている企業(ローソン)や市民が多く集まるイベントやなどで、健康について意識してもらいきっかけとなるよう、短時間で行える体験型の健康チェック、健康相談等を行う。
  - (1) 健康チェック及び健康相談
  - (2) 健(検)診のPR及び申込受付
  - (3) 健康に関する情報配信・常設の健康相談等の紹介等

- 1 健康無関心層へのアプローチとして、場所により手法を検討し内容を絞り込む。
- 2 市民にPRできる場を設定するため、より市民が参加するイベント等の会場に向く。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	実施回数				
指標の設定理由	PRできた実施回数(会場)				
目標値	11	9	9	9	9
実績値	11	9	9		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	来場者数(延)				
指標の設定理由	健康に関する情報提供等働きかけた(PRできた)人数				
目標値	1,100	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,144	1,142	1,060		
達成度	104.0%	114.2%	106.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	128		170		160		330			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	128		170		160		330			
② 人件費(千円)	4,438	人工	3,860	人工	4,763	人工		人工		人工
正規	4,153	0.54	3,340	0.44	4,379	0.58				
嘱託	285	0.1	520	0.18	384	0.13				
合計コスト①+②	4,566		4,030		4,923		330			
前年度比	—		88.3%		122.2%		—			

事務事業評価票

事務事業名	がん検診推進事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	がん検診推進事業

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28 ~ H32
松本市の死亡原因の1位であるがんによる死亡を減少させるため、各がん検診の受診率の向上に取り組み、がんの早期発見・早期治療につなげるもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 各がん検診受診者数(受診率) (1)胃がん検診 3,244人(3.7%) (4)子宮頸がん検診 9,320人(18.7%) (2)大腸がん検診 17,940人(20.6%) (5)乳がん検診 11,035人(23.7%) (3)肺がん検診 17,102人(21.6%) (6)前立腺がん検診 6,529人(21.1%)
2 無料クーポン事業 定期受診促進のため、各がんの発症が多くなる年齢または検診受診きっかけ年齢の者に対して無料検診を実施(子宮頸がん:21歳女性、乳がんマンモグラフィ:41歳女性、大腸:40歳、肺CT:50歳・60歳の者に対して実施)。新たに、35歳女性を対象に、乳がん超音波検診無料クーポン事業を開始した
3 個別の受診再勧奨 再勧奨通知の他に、電話による個別勧奨も行い検診受診を促した。他にメディアを活用した啓発にも取り組んだ。
4 受診しやすい環境整備 35歳女性に乳がん超音波検診無料クーポン事業開始。また、女性のがん死亡の1位である大腸がん検診を、乳がん検診及び子宮がん検診とセット受診できるようにした。ファミリーサポートセンターでの託児実施
5 精密検査未受診者に対する受診再勧奨 要精密検査者に対して、確実に精密検査を受診するよう勧奨した

平成30年度からは新たに35歳乳がん超音波検診無料クーポン事業を開始した。平成31年度からは、大腸がん検診の受診料をワンコインにして受診率向上を図る。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	がん検診受診者数				
指標の設定理由	市の実施するがん検診全体の進捗状況を確認できるため				
目標値	65,304	71,827	74,889	77,294	79,755
実績値	62,696	63,343	65,170		
達成度	96.0%	88.2%	87.0%		
② 成果指標(指標名)	がん検診受診率(乳がん検診)				
指標の設定理由	受診率を確認できるため				
目標値	16.8%	22.0%	23.8%		
実績値	20.2%	22.05%	23.7%		
達成度	120.2%	100.2%	99.5%		

＜コスト一覧＞						
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	248,307	261,481	270,230	268,400		
国・県	1,144	511	430	430		
利用者負担金	6,926	5,834	6,420	5,970		
その他						
一般財源	240,237	255,136	263,380	262,000		
② 人件費(千円)	32,472	人工 31,572	人工 33,418	人工	人工	
正規	27,684	3.6	26,717	3.52	27,105	3.59
嘱託	4,788	1.68	4,855	1.68	6,313	2.14
合計コスト①+②	280,779	293,053	303,648	268,400		
前年度比	—	104.4%	103.6%	88.4%		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	受動喫煙防止「松本スタイル」推進事業
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
市長公約	主な取組み	○	市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康とさずなづくり	
松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	受動喫煙防止「松本スタイル」推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

喫煙及び受動喫煙による健康被害の防止のため、基本方針「タバコと向き合う松本スタイル～あたり前の禁煙へ～」に基づき、禁煙及び受動喫煙防止に係る周知・啓発、教育、健康相談・保健指導等に取り組むもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 周知・啓発の推進
  - 受動喫煙防止対策の見直しのため、たばこ対策推進協議会の立上げ(会議4回) 受動喫煙防止対策に関する市民アンケートの実施(2,176人)
  - イベント会場などでの啓発の実施(まちかど健康相談・信金講演会等 15回・約8100人)
  - 禁煙エリア「さわやか空気思いやりエリア」の設定・検証((街頭啓発2回・2,250人)
- 家庭や職場等での受動喫煙の防止
  - 乳幼児や妊婦・家族への対策の徹底  
妊娠届出時の啓発1,739人、園児等の喫煙防止教育の実施23園、子育て出前講座(60回 延べ621人)35地区での啓発活動(208回 延べ4,926人)(2月末現在)
  - 職場での受動喫煙防止の徹底  
働く世代への啓発 280人、世界健康首都会議セミナー49人  
シルバー人材センター地区懇談会 22回 商工ヘルス(7回 延べ126人)
  - 禁煙等表示ステッカーの利用促進(ステッカー配布16事業所)
- 青少年へのたばこの害に関する教育の強化
  - 小中学生(喫煙防止講義 校、ポスター作品募集149名・作品展39日間)
  - 成人式参加者へ啓発資料の送付(1,920人)
- 禁煙へ導く各種体制の充実
  - 禁煙相談の実施等(4保健センターでの相談、肺がん検診時の指導等)
  - 禁煙へ導く具体的な事例紹介等(禁煙成功例・禁煙外来一覧の配布等)
- その他  
受動喫煙防止に関する条例の制定・公共施設の受動喫煙防止対策ガイドラインの作成

<現状に対する認識>

健康増進法の改正や受動喫煙防止条例ができ受動喫煙の観点からの環境は整いつつある。これらの改正内容等について市民への周知していく。特定健診での喫煙率が減らない現状があり、働く世代、子育て世代への禁煙に向けた働きかけ、更には初めの一歩を吸わせない環境づくりに取り組む。  
 ・育児期間中の両親の喫煙率 父 32.7% 母 3.7% 特定健診受診者の喫煙率の推移(H27年12.4% H28年12.5% H29年12.0%)  
 ・妊娠中～乳児期の母の喫煙率(妊娠中1.4% 4カ月2.7% 1歳半3.9% 3歳4.5%)

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	育児期間中(3歳以下)の両親喫煙率(父親)				
指標の設定理由	家庭への喫煙防止教育の効果が測定できるため。				
目標値	32.0%	31.5%	31.0%	30.5%	30.0%
実績値	32.0%	32.7%	31.2%		
達成度	100.0%	103.8%	100.6%		
② 成果指標(指標名)	禁煙等表示ステッカーの配布施設数				
指標の設定理由	事業所への受動喫煙対策の効果が測定できるため。				
目標値	90	100	110	120	130
実績値	102	108	126		
達成度	113.3%	108.0%	114.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	607	844	1,180	36,590		
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	607	844	1,180	36,590		
② 人件費(千円)	5,901	人工 9,339	人工 17,483	人工	人工	
正規	5,844	0.76	7,894	1.04	17,365	2.3
嘱託	57	0.02	1,445	0.5	118	0.04
合計コスト①+②	6,508	10,183	18,663	36,590		
前年度比	—	156.5%	183.3%	—		

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	身体活動維持向上事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	身体活動維持向上事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

ロコモティブシンドロームの予防啓発を広く行い、地域で自主的かつ継続的に運動に取り組める仕組みを作るために実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 体力づくりサポーター育成講座の実施**  
35地区の活動につながるよう、全地区で育成講座の実施  
2講座実施(南部・西部保健センター)  
新規登録者数 32名・全登録者数 483名(H30.2.18 現在)
- 体力づくりサポーター地区活動支援および活動内容**  
(1) 各地区での地区集会の実施(H30 105回)  
(2) 全体研修会の実施(H30 2回)  
(3) ふれあい健康教室等での運動伝達(四肢筋健診)(H30 34回)
- 体力づくりリーダーサポーター育成**  
2年以上経過したサポーターの方に対し、ステップアップ研修を実施し、受講後はリーダーサポーターとして登録し、地区での運動支援を積極的に行う人材を育成。  
登録者数 52名
- 体力健診の実施**  
40歳以上市民に対し、身近な場所で体力測定を実施し、運動を行うきっかけづくりを行う。  
(1) 健康づくり推進員等、各種団体 50回  
(2) がん検診受診者 12回  
(3) ふれあい健康教室での実施 30回  
(4) その他高齢者対象の実施 41回
- 骨粗しょう症予防**  
(1) 骨粗しょう症検診後のフォロー講座 3講座 参加実数68名  
(2) 骨粗しょう症予防の周知啓発(世界骨粗しょう症デーに合わせて、チラシ配布・イオンモールでの啓発等)

体力づくりサポーターの地区活動を活発にするために、リーダーサポーターを育成した。来年度は、体力づくりリーダーサポーターを中心に、住民主体の運動サークルの立ち上げを支援していく計画。  
体力健診の一部(がん検診と同時実施)を、松本大学へ委託し、より精度が高く、より多くの方に実施することを目指し、早期からのロコモ予防に取り組む。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	体力づくりサポーター登録者数(2月末時点)				
指標の設定理由	自主的かつ継続的に運動に取り組む仕組みができてきているかの指標				
目標値	454	525	525	525	525
実績値	421	485	483		
達成度	92.7%	92.4%	92.0%		
② 成果指標(指標名)	体力健診 実施者数				
指標の設定理由	ロコモティブシンドロームの啓発状況を把握				
目標値	1500	2250	2250	2250	
実績値	1,572	2064	2409		
達成度	104.8%	91.7%	107.1%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,586		1,587		1,850		2,560			
国・県										
利用者負担金										
その他	653		510							
一般財源	1,933		1,077		1,850		2,560			
② 人件費(千円)	24,011	人工	17,503	人工	24,372	人工		人工		人工
正規	23,070	3	16,319	2.15	23,103	3.06				
嘱託	941	0.33	1,185	0.41	1,269	0.43				
合計コスト①+②	26,597		19,090		26,222		2,560			
前年度比	—		71.8%		137.4%		9.8%			

**事務事業評価票**

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	こどもの生活習慣改善事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	こどもの生活習慣改善事業

<事業の狙い>

事業計画年度

28 ~ 32

こどもの時期から、望ましい運動習慣及び食習慣の重要性を意識づけることにより、将来の生活習慣病を予防するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 学校出前講座(「生活習慣」・「運動」・「栄養」等の保健指導プログラムの実施  
対象 主に小学校4年生・中学2年生・保護者  
(平成30年 小学校62回 4,272人 中学校5回 417人)
- 2 親子運動あそびプログラムの実施  
親子で、運動遊び等を通じ、からだを動かす楽しさを体験し、運動習慣の定着を図る。  
(平成30年 会場 松本大学/中山小体育館 参加数延べ 子ども117人 保護者90人)
- 3 啓発・情報提供事業  
保育園(年中児・年長児)・小4児童・中2生徒及びその保護者に、意識啓発・情報提供を目的として年3回健康情報通信配布

- ・こどもの時期からの望ましい運動習慣及び食習慣の重要性を意識づけることにより、健やかな心と体の発達を促し、体の土台を作ることにより、将来の生活習慣病を予防するもの。
- ・学校における保健指導プログラムについて、学校、関係課との調整を行い、今後について検討を行う。
- ・地域における親子体力向上事業の地域展開について、関係課と調整し実施していく。
- ・情報配信の回数、配布先の見直しを行う。

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○生活習慣病の予防と重症化予防の支援	
5つの重点目標	重点目標	1	健康ときずなづくり
	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	学校出前講座 受講者数				
指標の設定理由	過去5年間の出前講座受講者数の平均				
目標値		7,600	7,600	7,600	7,600
実績値	8,166	7,215	4,689		
達成度		94.9%	61.7%		
② 成果指標(指標名)	朝食をとる割合				
指標の設定理由	望ましい食生活習慣の定着を図る				
目標値		95.0%	96.0%	97.0%	100%に近づける
実績値	94.2%	95.4%	95.4%		
達成度		100.4%	99.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	774		837		1,000		940			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	774		837		1,000		940			
② 人件費(千円)	15,817	人工	10,929	人工	14,576	人工		人工		人工
正規	14,534	1.89	9,108	1.2	12,835	1.7				
嘱託	1,283	0.45	1,821	0.63	1,741	0.59				
合計コスト①+②	16,591		11,766		15,576		940			
前年度比	—		70.9%		132.4%		—			



事務事業評価票

事務事業名	食育推進事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	食育推進事業費

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			①健康・医療産業の創出・育成

<事業の狙い>

事業計画年度	平成28年度～平成32年度
--------	---------------

「第3期松本市食育推進計画」に基づき、市民一人ひとりが自主的に豊かな食習慣を育み、より実践しやすい食育の取り組みを推進するもの。  
 第2期計画に引き続き「1日2食は3皿運動」を推進するために、「おいしく食べよう具だくさんみそ汁運動」及び「よくかむ30かみかみ運動～飲み込む前にあと5回～」を取組みの柱として、これまでの運動をより実践につなげるよう展開する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 食生活改善栄養指導事業  
 望ましい食生活を実践する人を増やすため、食生活改善推進員と協働で、健康づくり推進員や市民を対象に、栄養講話、調理実習を実施する。  
 ・統一テーマ 34回747人 ・地区独自テーマ 55回1,224人
- 食生活改善推進員養成事業  
 地域で食生活改善に関するボランティア活動をする人を増やすため、市内2会場において食生活改善推進員養成教室を実施  
 ・修了者数 19地区29名・新規加入者22名(加入率75.9%)
- 周知啓発活動  
 ・働く世代へのPR「労政まつも」へ2回掲載  
 ・図書館食育テーマ展示 市内全11館において2回  
 ・食育啓発しおり配布(3,000枚)  
 ・食育パネル展及びイベント  
 イオン南松本店(1週間)イベント参加者約170人  
 学都松本フォーラム(2日間)イベント参加者約200人  
 適塩みそ汁の試飲、好きなみそ汁の具総選挙、そしゃくカチェック
- ライフイベントに応じた情報提供(レシピ集配布)  
 ・中学卒業 2,522冊 ・高校卒業 3,174冊  
 ・新社会人、成人 265冊 ・退職者 243冊

第3期計画に基づき、豊かな食習慣を育み、健全な食生活を実践することができる人を増やすため、より手軽に取組みやすい方法を通し、個人の実践に結びつくような食育を広げていくため、庁内関係課、関係団体、企業等と連携し、さまざまな事業を展開する。

<指標の達成状況>	総合評価	B				
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	食生活改善推進協議会の新規入会者数(前年度教室修了者対象)					
指標の設定理由	地域での食育推進のため、地域資源となる会員の増加を測る。					
目標値	25	30	30	30	30	
実績値	21	23	22			
達成度	84.0%	76.7%	73.3%			
② 成果指標(指標名)	食生活改善栄養指導教室の参加者満足度(生活の参考になった率)					
指標の設定理由	健康増進に関わる人や市民の食生活改善に対する意識の変化を測る。					
目標値	95.00%	95%	100%	100%	100%	
実績値	96.90%	97.50%	98.60%			
達成度	102.0%	102.6%	98.6%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	1,480	3,534	3,110	2,250	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,480	3,534	3,110	2,250	
② 人件費(千円)	16,713	人工 24,567	人工 26,831	人工	人工
正規	12,381	1.61 19,279	2.54 19,102	2.53	
嘱託	4,332	1.52 5,289	1.83 7,729	2.62	
合計コスト①+②	18,193	28,101	29,941	2,250	
前年度比	—	154.5%	106.5%	—	

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	自殺予防対策事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	自殺予防対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H29~H35

自殺予防に関して、市民の啓発、相談体制の強化、身近な地域での見守り体制の構築等、総合的な対策を推進する

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 普及・啓発・教育の推進  
 広報の掲載(9月)  
 自殺予防街頭キャンペーン(3月)  
 青少年への教育・啓発  
 ・市内中学2年生へのパンフレットの配布  
 ・市内中学3年生と高校3年生に配布する新生活応援レシピ集にコラム掲載
- 相談・支援体制の充実  
 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設  
 平成30年度実人数66人
- 気づき・見守る地域づくり  
 地域支援者養成講座:民生児童委員、健康づくり推進員等へ情報提供  
 平成30年度 2,888人
- 関係団体との連携  
 自殺予防対策推進協議会の開催
- 第2期自殺予防対策推進計画の策定

平成29年度策定の第2期自殺予防対策推進計画に基づき事業を展開するとともに、より一層若年者及び働き盛り世代への対応の強化を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地域支援者の養成				
指標の設定理由	身近な地域で支える人の増加を図るため				
目標値	2,000	2,100	2,400	2,500	2,550
実績値	2,043	2,352	2,888		
達成度	102.2%	112.0%	120.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,831		10,200		9,970		10,340			
国・県	4,501		5,382		5,610		5,970			
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,330		4,818		4,360		4,370			
② 人件費(千円)	19,952	人工	25,072	人工	19,341	人工		人工		人工
正規	19,610	2.55	24,668	3.25	19,253	2.55				
嘱託	342	0.12	405	0.14	89	0.03				
合計コスト①+②	28,783		35,272		29,311		10,340			
前年度比	—		122.5%		83.1%		—			

**事務事業評価票**

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	認知症予防対策事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	認知症予防対策事業

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	○生活習慣病の予防と重症化予防の支援
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜事業の狙い＞

事業計画年度 28年度～32年度

若いときからの生活習慣が、将来の認知症予防につながることを幅広く啓発する。  
市民及び市内在勤者が、生活習慣病と認知症の関係に気づき、予防のための行動を継続して行うことができるきっかけとする。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 生活習慣病と認知症の関係の啓発を行う。  
(1)パンフレットを用いた啓発(地区事業、課事業、庁内事業等での周知)  
(2)連携企業従業員への周知・啓発  
(3)連携事業参加者、施設利用者への配布  
(4)ホームページ、イクジイへの掲載
- より若い世代、子育て世代、働き盛り世代にターゲットをあて、在勤者も含め、健康無関心層への周知啓発のため、協賛企業等からの景品提供等により抽選でインセンティブを付与する。  
(平成30年度 参加者のうち20～50代の割合 36.9%)
- 生活習慣病と認知症の関係を知ったうえで、自身の健康目標を立て30日間継続して実践した方が応募するというステップにより、努力した方へのインセンティブの付与とする。

- 生活習慣病と認知症との関連を知る市民が増えるという底辺の拡大は継続。
- 認知症予防について学んだうえで、健康目標を自身で設定し、30日間継続して実践した方が応募するというステップにより、努力した方へのインセンティブの付与とすることは継続。
- 健康無関心層である若い世代(学生等)、子育て世代、働き盛り世代の事業参加を促す。
- 生活習慣病予防のための生活を継続し、習慣化できているかの効果検証を行う。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	参加者のうち、若い世代(20～50代)の割合				
指標の設定理由	若い世代の参加率をはかるため				
目標値	35.0%	40.0%	42.0%	44.0%	46.0%
実績値	39.8%	38.6%	36.9%		
達成度	113.7%	96.5%	87.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,047		1,280		1,100		1,230			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,047		1,280		1,100		1,230			
② 人件費(千円)	5,449	人工	7,658	人工	8,347	人工		人工		人工
正規	5,306	0.69	6,907	0.91	7,550	1				
嘱託	143	0.05	751	0.26	797	0.27				
合計コスト①+②	6,496		8,938		9,447		1,230			
前年度比	—		137.6%		105.7%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子健康対策 ①
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 母子健康手帳の交付  
妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を記録するものとして、妊娠届の際に交付。  
併せて、保健師が全数面接を行い相談・支援を実施。  
(母子手帳交付者数 1,889人)
- 新生児・乳幼児訪問  
児の心身の健全な発育と保護者の育児支援を行うため、訪問により身体測定、発達観察、育児・健康相談を実施。  
(訪問数 949件)
- 母子関係機関との連携  
切れ目なく健全な子育てを支援するため、関係機関との情報共有、ケース検討等実施。(連携数 756件)

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	子育てに負担を感じた時に対処法がある母親の割合(%) ※3歳児健診時調査				
指標の設定理由	子育てに負担を感じる母親へのサポート状況を把握できる				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	76.9	74.0	74.2		
達成度	76.9%	74.0%	74.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,876		4,272		4,798		5,910			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,876		4,272		4,798		5,910			
② 人件費(千円)	32,036	人工	33,436	人工	37,673	人工		人工		人工
正規	26,992	3.51	25,806	3.4	31,861	4.22				
嘱託	5,045	1.77	7,630	2.64	5,812	1.97				
合計コスト①+②	36,912		37,708		42,471		5,910			
前年度比	—		102.2%		112.6%		—			

事務事業評価票

事務事業名	母子健康対策 ②
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	主な取組み		○松本地域で協力した出産体制を維持
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	～
安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。(疾病・障害等の早期発見や成長・発達の確認、育児相談を通じ、母子に寄り添った育児支援を行うもの。さらに、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を図るもの。)	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 乳児健診(4か月、10か月) 問診、身体測定、発達観察、医師診察、育児相談を実施するもの 4か月:72回 1,807人(98.1%) 10か月:72回 1,721人(97.6%) 2 幼児健診(1歳6か月、3歳) 問診、身体測定、発達観察、医師診察、歯科診察、育児相談(3歳のみ尿検査、視聴覚検査、絵本読み聞かせ)を実施するもの。 1歳6か月:72回 1,866人(98.4%) 3歳:72回 1,991人(99.3%) 3 二次乳幼児健診 発達における要経過観察児のフォローと育児支援、安心して子育てができる為の援助 小児神経科医師による個別相談 34回 受診者延数165人 心理相談 52回 受診者延数85人 言語発達相談 30回 受診者延数105人 発達相談 44回 受診者延数171人 4 精神科医師による個別相談 適切な精神科医医療やサポートが受けられるよう、精神科医師による相談及び治療の見極め等を行い、こころの健康が保たれるように支援するもの。 12回 受診者延数29人 5 幼児歯科管理登録事業 歯科医師会に事業委託し、希望者の口腔内状況を管理し、児の健康増進とむし歯予防をおこなうもの。529名登録 登録率27.9% 6 私立保育園歯科集団指導 私立保育園における健康増進とむし歯予防を行うもの。12園実施
--

<現状に対する認識>

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、その子とその親に寄り添った育児支援が行えるよう相談・支援体制の強化を図ります。 また、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を行います。
--

<指標の達成状況>

区分	総合評価		B		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	乳幼児健診の受診率(4か月、10か月、1歳6か月、3歳の平均)(%)				
指標の設定理由	安心して育児ができるために、健診の場で支援を受けられている状況				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	97	97.4	98.4		
達成度	97.0%	97.4%	98.4%		
② 成果指標(指標名)	3歳児歯科健診時のう歯保有児数				
指標の設定理由	幼児期にむし歯のある児の状況が把握できる				
目標値	10	10	10	10	10
実績値	9.3	9.4	8.4		
達成度	93.0%	94.0%	84.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	33,621		32,985		31,889		29,583			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	33,621		32,985		31,889		29,583			
② 人件費(千円)	55,036	人工	60,215	人工	66,268	人工		人工		人工
正規	44,833	5.83	46,603	6.14	52,446	6.82				
嘱託	10,203	3.58	13,612	4.71	13,823	4.85				
合計コスト①+②	88,657		93,200		98,157		29,583			
前年度比	—		105.1%		105.3%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子健康対策 ③
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

妊娠期から育児に関する不安の解消のための適切な情報提供や、母子の愛着形成を促すことにより、健やかな子育てを支援する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 両親学級  
妊娠期から母性、父性をはぐみ子育ての孤立化を予防する  
平日コース 2回コース×6回  
休日コース 2回コース×14回 計 延べ40回 参加者延べ数1,218人
- 離乳食教室(初期 中期)  
離乳食の適切な情報提供と育児支援  
初期(5～7カ月)10回×4保健センター 40回 参加者実数677人  
中期(7～8カ月) 32回 参加者数529人
- 1歳児教室  
一歳児における生活習慣の基礎づくり 31回 参加者数488人
- 子育て出前講座  
乳幼児期の成長発達における適切な情報提供と育児支援  
64回 参加者数1,376人
- 多胎児教室  
多胎児を育てている妊婦や保護者の子育て不安の解消と多胎児親子の交流  
年4回 参加延べ数139人
- 母子支援教室  
タッチケアを通じ早期からの母子愛着形成を促し虐待を予防する  
23回×4保健センター 92回 参加者延数 630人

<現状に対する認識>

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、妊娠期から産後も安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。  
妊娠期から子育て期までの情報提供、親子の交流の場を提供し子育て支援を行ないます。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	育児不安解消率(両親学級)(%)				
指標の設定理由	妊娠期の育児不安解消は、母子の愛着形成をより促す				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	99.3	99.5	99.1		
達成度	99.3%	99.5%	99.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,551		3,133		2,636		2,862			
国・県					512		509			
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,551		3,133		2,124		2,353			
② 人件費(千円)	25,269	人工	26,815	人工	33,116	人工		人工		人工
正規	20,994	2.73	21,556	2.84	27,530	3.58				
嘱託	4,275	1.5	5,260	1.82	5,586	1.96				
合計コスト①+②	30,820		29,948		35,752		2,862			
前年度比	—		97.2%		119.4%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	少子化対策事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○松本地域で協力した出産体制を維持
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	少子化対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

妊娠の希望をかなえ、安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 育児ママヘルプサービス  
育児不安等、育児困難者支援のため、助産師が訪問し、育児支援や相談を実施するもの。(利用者数 18人)
- 産後ケア事業  
育児不安等、育児困難者のため、入院やデイケアにより産後の健康管理と育児指導、乳房管理等を実施するもの。(利用者数 デイケア 4人 宿泊 51人)  
(母乳・育児相談 687人)
- 母子保健コーディネーター配置事業  
子育てを包括的に支援するため、子ども子育て安心ルームを設置。母子保健コーディネーターを配置し、子育てコンシェルジュを始め市内・外の関係機関と連携することにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を構築するもの。  
(健康づくり課に専任で1名配置)
- 不妊・不育症治療費助成事業  
不妊・不育症治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部(補助率3分の2、上限30万円)を助成金として交付するもの  
(不妊症 250人 30,471千円 不育症 4人 424千円)

少子化が進む中で、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	子育てに負担を感じた時に対処法のある母親の割合(%) ※3歳児健診時調査				
指標の設定理由	子育てに負担を感じる母親へのサポート状況を把握できる				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	76.9	74.0	74.2		
達成度	76.9%	74.0%	74.2%		
② 成果指標(指標名)	合計特殊出生率				
指標の設定理由					
目標値	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
実績値	1.5	1.5			
達成度	96.2%	96.2%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	42,529		39,850		47,330		62,730			
国・県	3,090		2,248		4,350		11,830			
利用者負担金	80		151		150		120			
その他										
一般財源	39,359		37,451		42,830		50,780			
② 人件費(千円)	13,675	人工	17,200	人工	17,599	人工		人工		人工
正規	11,766	1.53	16,015	2.11	16,006	2.12				
嘱託	1,910	0.67	1,185	0.41	1,593	0.54				
合計コスト①+②	56,204		57,050		64,929		62,730			
前年度比	—		101.5%		113.8%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	妊婦一般健康推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	妊婦一般健康推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

母子の健康を保持増進するため、最低限必要となる健診を公費により支援し、経済的負担軽減を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 妊婦一般健康診査 妊娠中の異常を早期に発見し、母子の健康保持・増進を図るもの。 (受診者延数 21,932人)
2 妊婦一般健康診査県外受診 里帰り等で県内で妊婦健康診査を受診できない方や登録外の助産所で受診された方に妊婦健康診査の費用の一部を助成するもの。 (助成者数 207人)

妊娠中の妊婦の健康を維持し、安心・安全な分娩・出産ができるよう健診の必要性を丁寧に説明し、受診率の向上に努めます。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	健診受診率(基本健診受診券発行枚数(14枚)に対する利用数の割合(%))				
指標の設定理由	安全、安心な出産を支える健診受診割合を把握できる。				
目標値	85	85	85	85	85
実績値	86.2	80.6	99.9		
達成度	101.4%	94.8%	117.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	214,137		213,988		237,390		223,670			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	214,137		213,988		237,390		223,670			
② 人件費(千円)	4,905	人工	8,149	人工	8,485	人工		人工		人工
正規	3,537	0.46	5,693	0.75	5,889	0.78				
嘱託	1,368	0.48	2,457	0.85	2,596	0.88				
合計コスト①+②	219,042		222,137		245,875		223,670			
前年度比	—		101.4%		110.7%		—			



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	各種予防接種事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまちなち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	各種予防接種事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

予防接種法に基づく定期予防接種の実施、及び任意予防接種への本市独自の助成制度をととして、感染症の発生及びまん延の防止を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 定期予防接種事業  
 予防接種法に基づき対象者個人に通知を発送し、県内医療機関における個別接種を行う。(H30接種率 98.6%)  
 里帰り出産等で県外で接種した際の償還払い制度(H28から開始)を推進する。  
 (H30実施数 69件)
- 任意予防接種事業  
 任意予防接種(おたふくかぜ、B型肝炎、高齢者肺炎球菌)のワクチン接種費用の一部助成を行い、対象者のワクチン接種を促す。  
 (H30接種数 おたふく 1,583件 )  
 (H30接種数 高齢者肺炎球菌 73件 B型 1,133件 )
- 新型インフルエンザ等対策  
 松本市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型インフルエンザ発生時における市内の医療体制や予防接種体制を検討し、新型インフルエンザ等対策を推進する。

子どもの定期予防接種率はほぼ横ばい状態で、現在感染症の蔓延はない。任意予防接種については29年度からB型肝炎ワクチンの助成対象を未就学児まで拡大したことから、より多くの子どもたちがワクチン接種できるように周知啓発を図っていく。

<指標の達成状況>	総合評価		A		
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 成果指標(指標名)	子どもの定期予防接種率(定期全体)				
指標の設定理由	子どもの定期予防接種全体の実施率を把握することができるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	93.60%	96.46%	98.64%		
達成度	93.6%	96.5%	98.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	654,134		642,229		686,460		632,090			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	654,134		642,229		686,460		632,090			
② 人件費(千円)	26,031	人工	21,422	人工	24,458	人工		人工		人工
正規	18,764	2.44	13,966	1.84	17,290	2.29				
嘱託	7,268	2.55	7,456	2.58	7,169	2.43				
合計コスト①+②	680,165		663,651		710,918		632,090			
前年度比	—		97.6%		107.1%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	介護予防普及啓発事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	介護予防普及啓発事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

介護予防への関心を高めるため、身近な地域で講座を開催し、より多くの市民に介護予防に関する知識や情報を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 ひざ痛予防講座の実施  
 身近な場所で、運動機能の向上を目的とした取組みが継続して行えるように、12回コースの講座を実施。  
 ひざ痛予防の運動を主として行い、講座終了後は自主的に実施できるよう指導。

講座開催数 3講座(×12回=36回)  
 講座参加延数 (3月末集計)

講座終了後 自主サークル化 100%(3会場共に週1回の運動継続中)

高齢福祉課でも別途報告

単なる行政主体の講座ではなく、住民が自ら介護予防に取り組みたいと思い、行動できるように支援する方法へ変更していく。  
 30年度実施した「ひざ痛予防講座」も終了とし、「自主サークル活動支援事業」として、広く進めていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	介護予防講座開催数(ひざ痛予防のみ)				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた回数				
目標値	118	118	48		
実績値	158	113	36		
達成度	133.9%	95.8%	75.0%		
② 成果指標(指標名)	介護予防講座参加者数(人)				
指標の設定理由	介護予防に関する知識の普及ができた人数				
目標値	3,410	2,470	120		
実績値	3,133	2,205	82		
達成度	91.9%	89.3%	68.3%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,576		1,505		1,190		0			
国・県	591		564		446					
利用者負担金										
その他	788		752		595					
一般財源	197		189		149					
② 人件費(千円)	20,850	人工	13,516	人工	2,216	人工		人工		人工
正規	19,225	2.5	11,233	1.48	2,039	0.27				
嘱託	1,625	0.57	2,283	0.79	177	0.06				
合計コスト①+②	22,426		15,021		3,406		0			
前年度比	—		67.0%		22.7%		—			

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	市民歩こう運動推進事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み			○市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市民歩こう運動推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

「健康寿命延伸都市・松本」の実現に向けて、全市的に「市民歩こう運動」を推進・展開し、「歩くこと」による健康の維持増進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ウォーキングマップを活用したウォーキングイベントを35地区で実施  
地区ウォーキングイベント 321回 7,294人  
内 親子ウォーキングイベント 子供の参加者 383人
- 健康づくり講座実施後のフォロー講座  
ウォーキング実践者を増やす目的の講座のフォロー講座を実施し、ウォーキングの定着を図る  
(1) 1年後講座(体力測定実施) 4地区実施 48人参加  
(2) フォロー運動講座 4地区実施 50人参加
- 市民歩こう運動強化月間での周知啓発  
(1) 広報まつもと 10月1ページ特集号掲載  
(2) 健康標語の階段掲示  
(3) 懸垂幕の掲示  
(4) 庁内掲示  
(5) 地区でのウォーキングイベントでののぼり旗掲示  
(6) イベントでの周知啓発(山雅のホームタウンイベント)
- その他啓発  
(1) 体力づくりサポーターに対してウォーキング講座の実施  
30回 参加者実数 260名

地区福祉ひろばを中心に、各地区でのウォーキングイベントは定着してきている。30年度は地区での活動を支援するために、体力づくりサポーターに対してウォーキング講座を実施した。  
31年度からは、身体活動維持向上事業の一つとして、地域での自主的な体力づくりを推進していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業参加者延人数				
指標の設定理由	全市的に「市民歩こう運動」を展開していくため事業参加延人数とした				
目標値	9,300	9,600	9,900		
実績値	9,059	8,163	7,652		
達成度	97.4%	85.0%	77.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,100		3,260		1,090		120			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,100		3,260		1,090					
② 人件費(千円)	2,635	人工	2,620	人工	2,777	人工		人工		人工
正規	1,923	0.25	1,898	0.25	2,718	0.36				
嘱託	713	0.25	723	0.25	59	0.02				
合計コスト①+②	5,735		5,880		3,867		120			
前年度比	—		102.5%		65.8%		—			